



⑤

令和2年度 神奈川県公営企業会計

決算説明資料  
～グラフで見る決算～

神奈川県企業庁

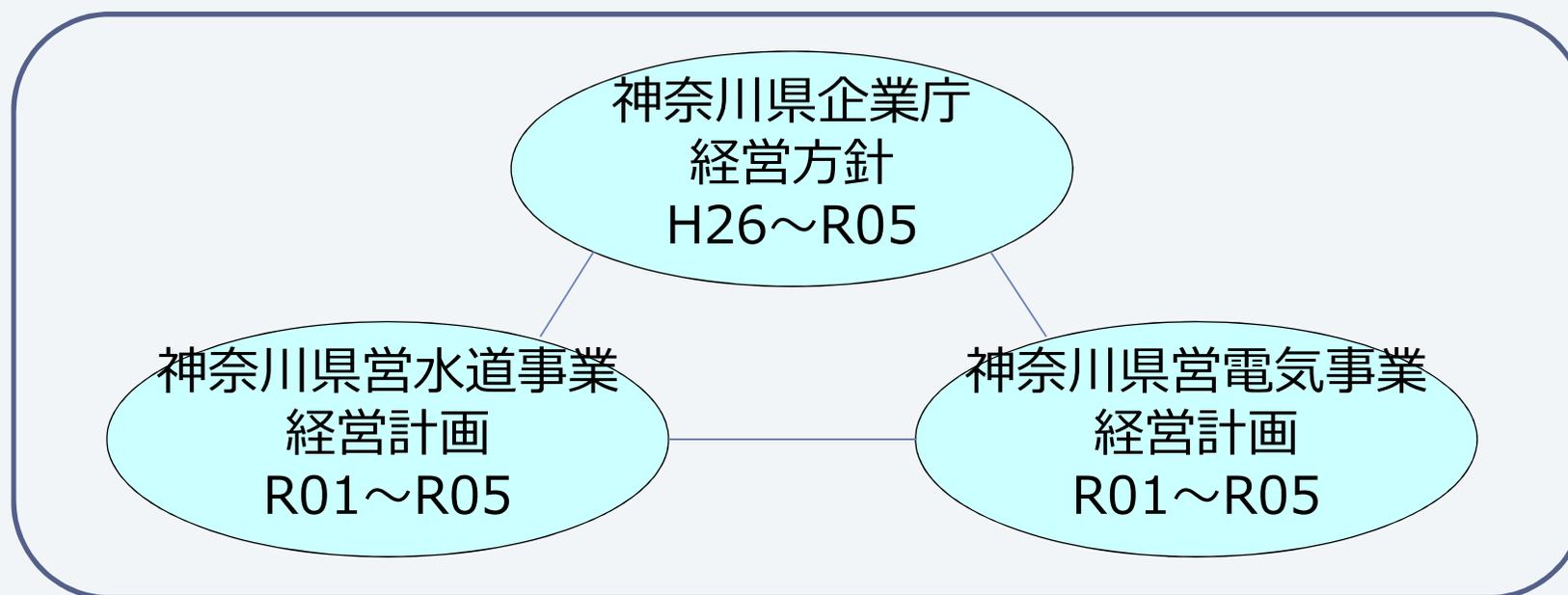


# 目次

I	令和2年度における主な取組の内容	1
1	水道事業	2
2	電気事業	15
3	公営企業資金等運用事業	22
II	令和2年度公営企業会計決算額総括表	25
III	各事業会計の決算の状況	27
	水道事業会計	27
	電気事業会計	43
	公営企業資金等運用事業会計	56
	相模川総合開発共同事業会計・酒匂川総合開発事業会計	66

# I 令和2年度における主な取組の内容

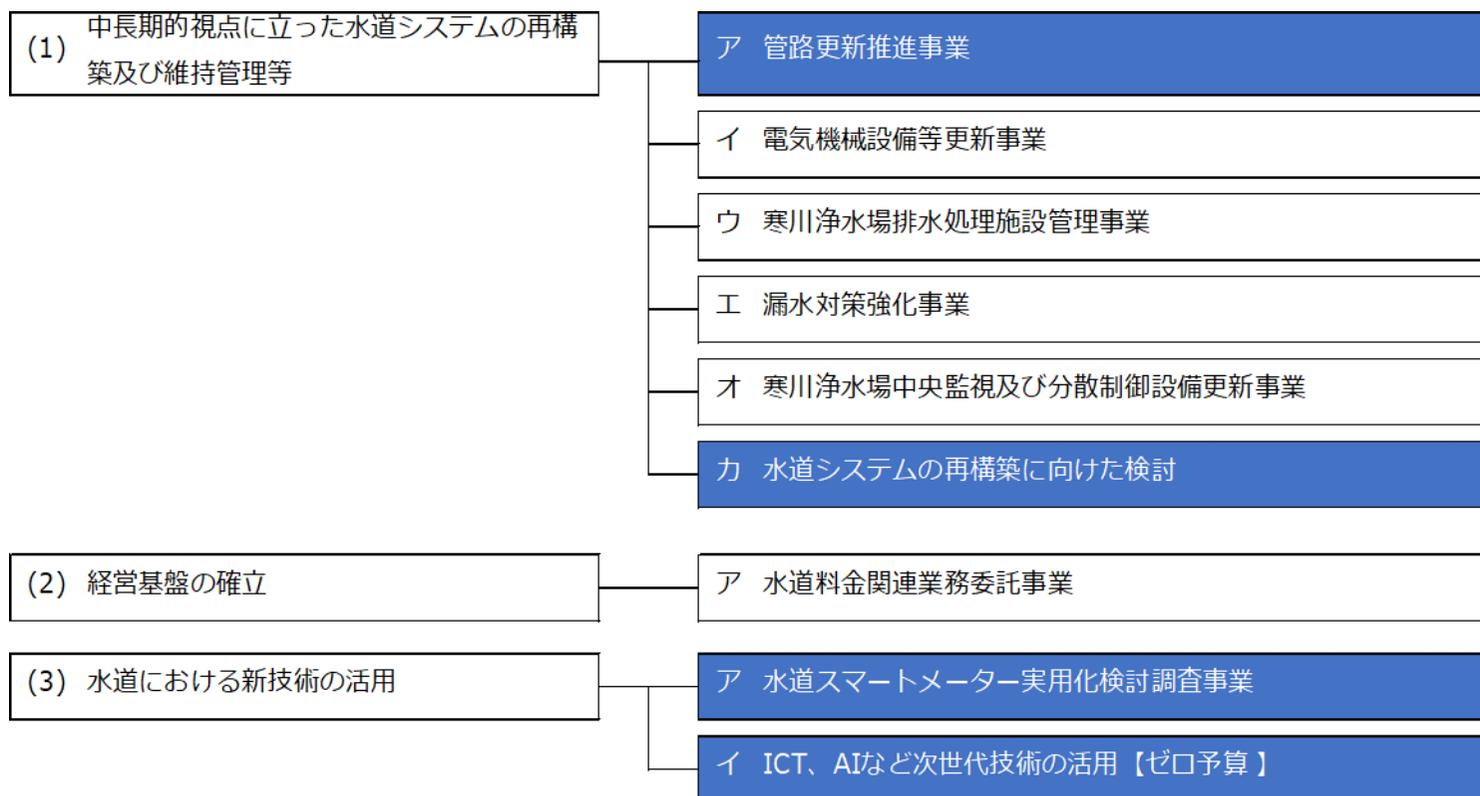
水道事業、電気事業の「経営計画」の2年度目として、計画に掲げる目標達成に向けて、施設の耐震化や老朽化対策を計画的に進め、水道と電力の安定供給を図るとともに、水道スマートメーター等の新技術導入に向けた研究や、再生可能エネルギーの地産地消等にも積極的に取り組みました。



# 1 水道事業会計

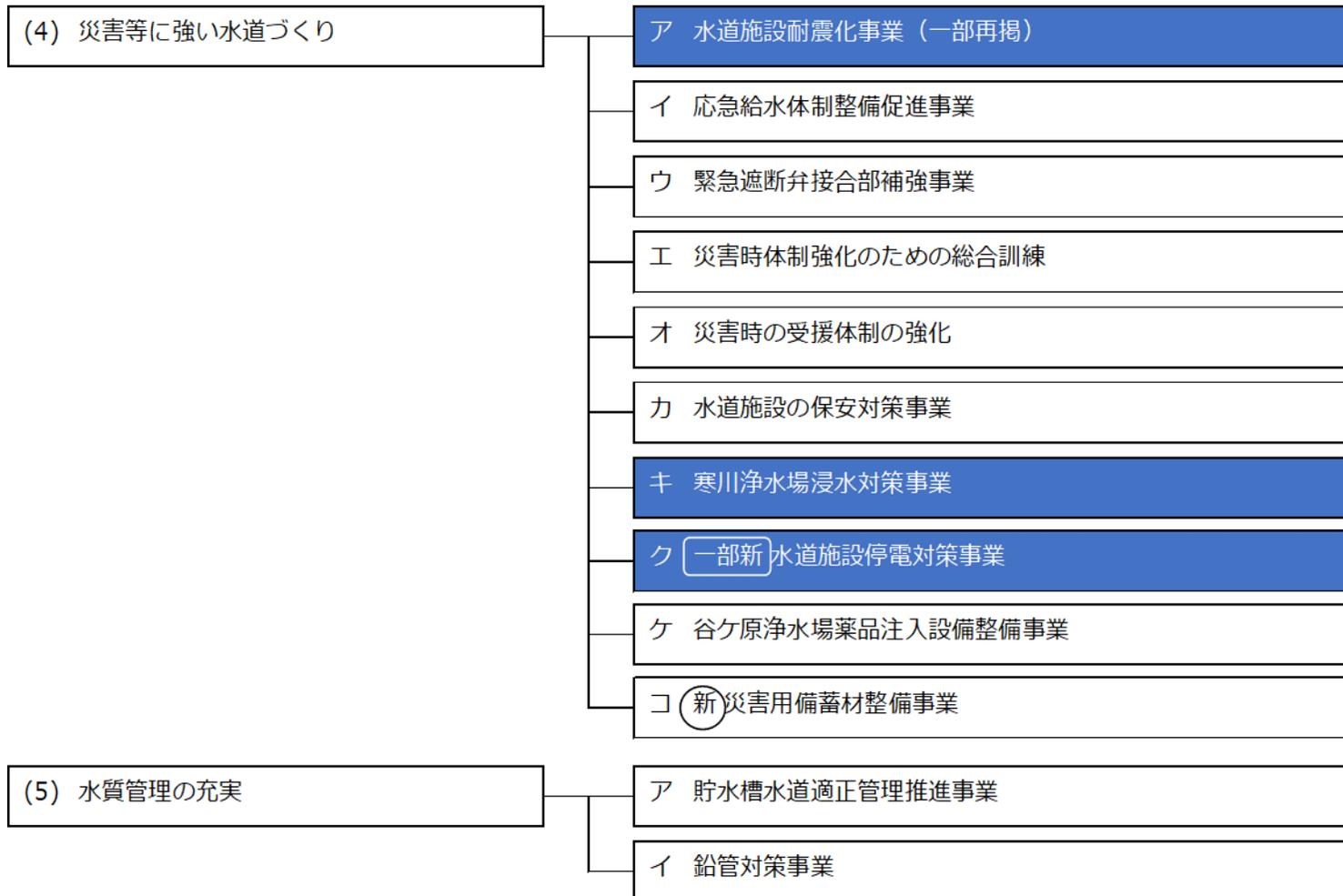
# 1 水道事業

## <主要施策体系図>



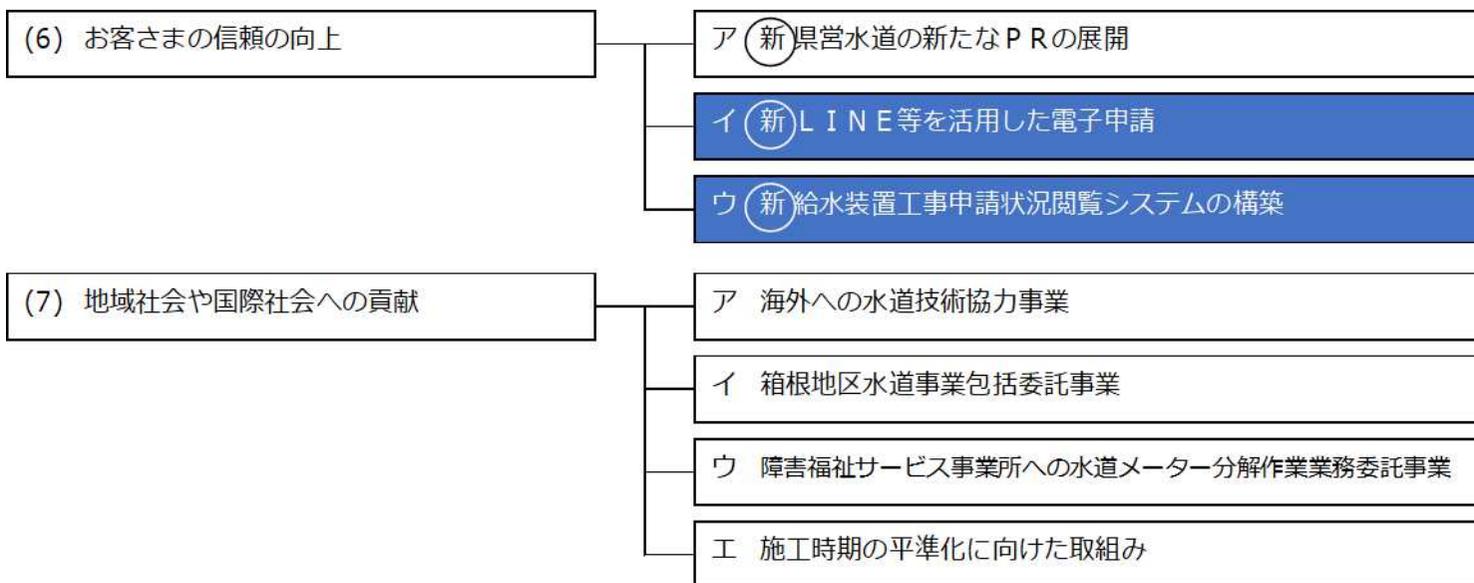
# 1 水道事業

## <主要施策体系図>



# 1 水道事業

## <主要施策体系図>

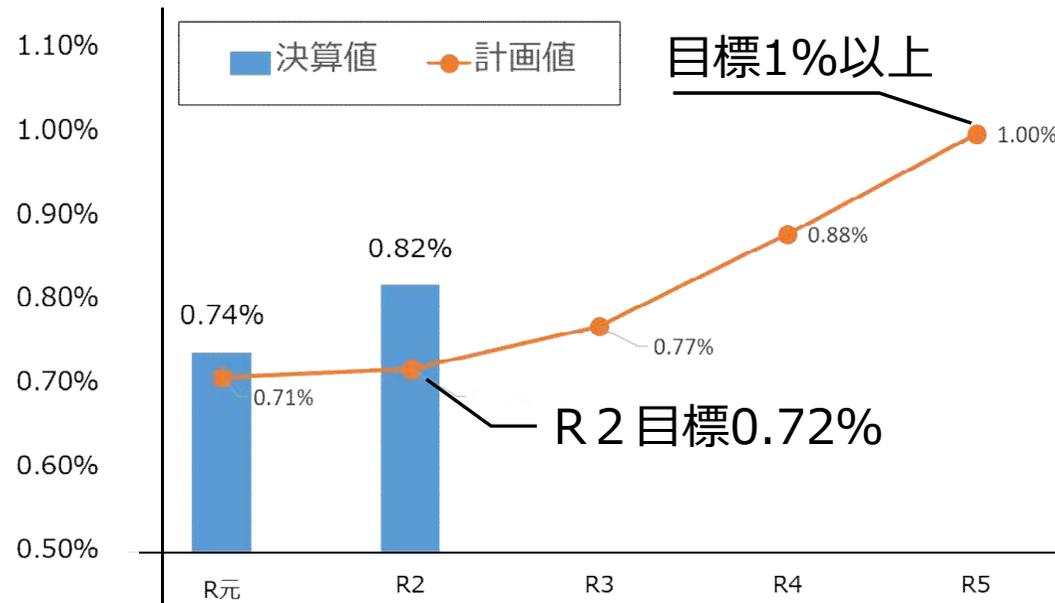


## 管路更新推進事業

### 事業内容

- 年間の管路更新率を計画期間内に1%以上に引き上げ、100年以上の耐久性が期待できる耐震継手管を使用して、老朽化が進む管路の更新と耐震化を推進する。

### 取組状況（年間の管路更新率）



管路更新に当たり、新たに布設する水道管は、東日本大震災クラス（震度7）への耐震性があるとされている「耐震継手管」であるため、管路を更新することで耐震化も併せて図られる。（7、10ページ参照）

## 管路更新推進事業の状況 | 写真



平塚1号基幹管路更新工事 耐震継手管理設工の様子



耐震継手管

Kanagawa Prefectural Government

耐震継手管は、水道管と水道管をつなぐ「継手」部分が鎖構造になっており、管が伸び縮みしながら、揺れを吸収するとともに、突部構造により水道管の抜け出しを防ぐことのできる離脱防止機能付きの水道管である。

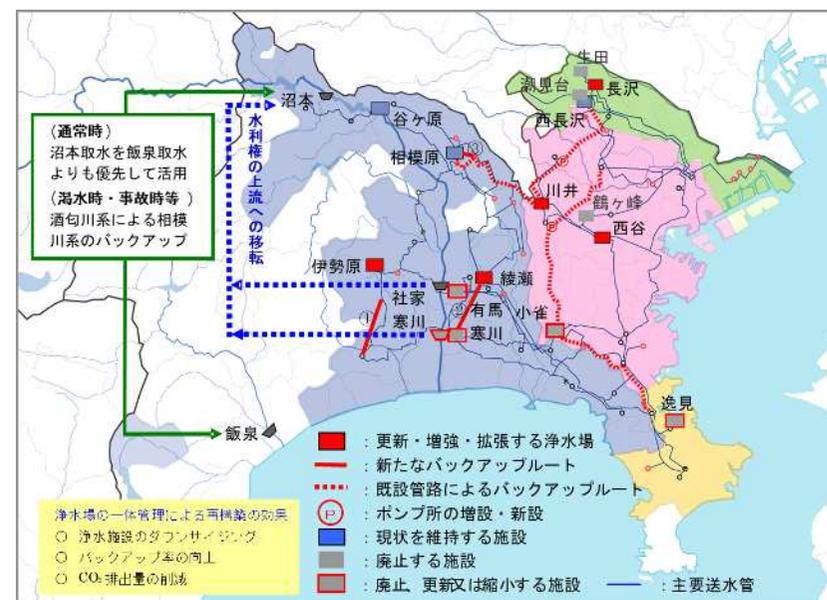
# 水道システムの再構築に向けた検討

## 事業内容

- 配水池や小規模水源の統廃合を推進するほか、県内の水道事業者との広域的な連携に取り組む。

## 取組状況

- 配水池の統廃合として、計画目標5箇所のうち、令和2年度は1箇所の配水池を廃止した。
- 神奈川県、横浜市、川崎市、横須賀市及び神奈川県内広域水道企業団の5事業者が連携し、各事業者の枠組を越えた水道システムの再構築に向けて継続して検討を進めている。
- 令和元年11月に水道事業、河川行政に関する有識者を交えた「これからの時代に相応しい水道システムの構築に向けた検討会」を設置し、再構築を進める上での課題の整理と解決策について議論し、令和3年3月にその内容を取りまとめた。
- 5事業者は、検討会での有識者の意見を踏まえ、水道システムの再構築の方向性や、上流取水の優先利用、災害・事故時のバックアップ強化などの視点から、5事業者全体で8浄水場への再編が、現時点で最適な施設配置であることを確認した。



5事業者が目指す水道システムの再構築

## (3) 水道における新技術の活用

### 事業内容（水道における新技術の活用）

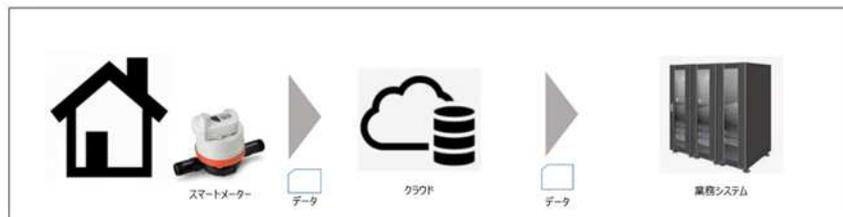
- 水道スマートメーターの実用化に向けた検討や、センサー・A I 等を使った設備の維持管理技術の研究等を行う。

#### 水道スマートメーター実用化検討調査事業

##### 取組状況

- 令和2年度事業費 | 7,150千円
- 水道スマートメーターの実用化に向けて、他水道事業者と情報交換を行うとともに、令和2年度に経済産業省が主催する「共同検針インターフェース会議」に参画し、電気やガスとの共同検針について検討を開始した。

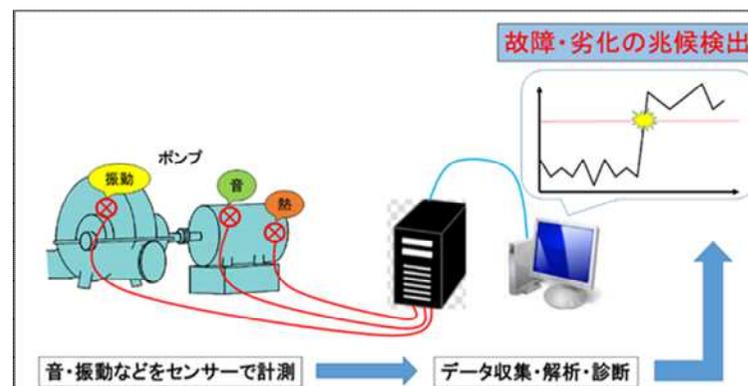
導入のイメージ図



#### ICT、AIなど次世代技術の活用

##### 取組状況

- 令和2年度事業費 | - 千円
- A I 等を用いた「電気・機械設備の故障・劣化診断技術」に係る民間企業との共同研究を、令和2年度に谷ヶ原浄水場において開始した。



## (4) 災害等に強い水道づくり

### 水道施設耐震化事業

#### 事業内容

- 浄水場や配水池、重要給水施設への供給管路等の耐震化を進める。

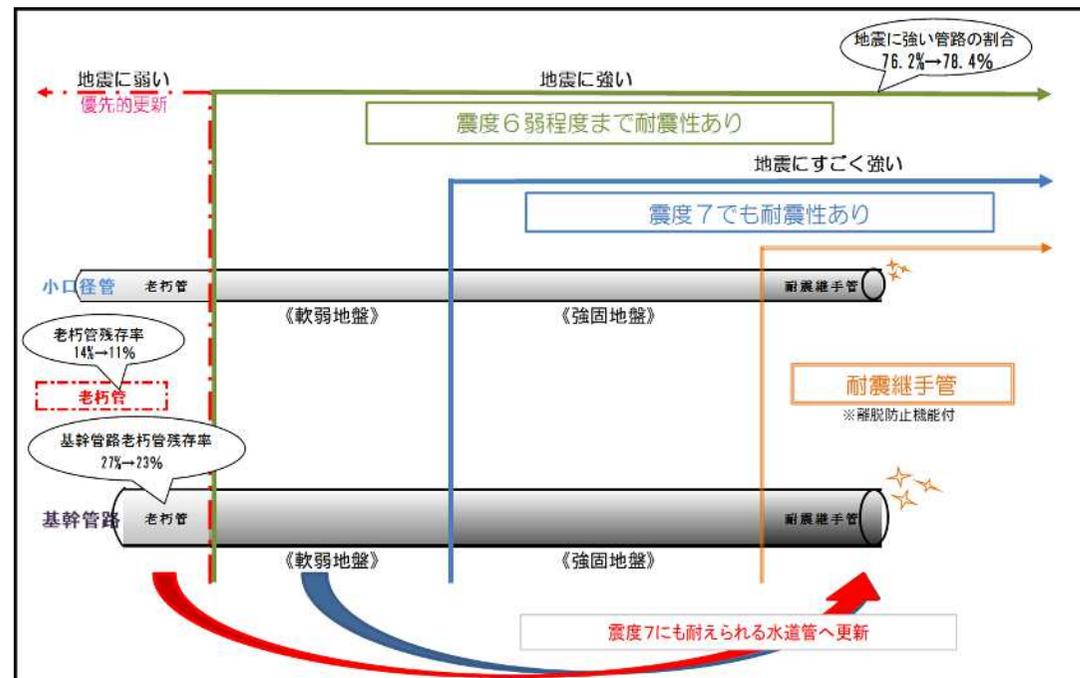
#### 取組状況

- 災害協力病院への供給管路の耐震化

指標	H30	R元	R2	R3	R4	R5	計	目標
実施病院数	1	2	2				5	9

- 老朽管等の更新

老朽管等を震度6弱程度までの地震に耐えられる地震に強い管路に更新する。  
令和5年度までに地震に強い管路の割合を78.4%まで向上させる。  
(R2実績 77.1%)

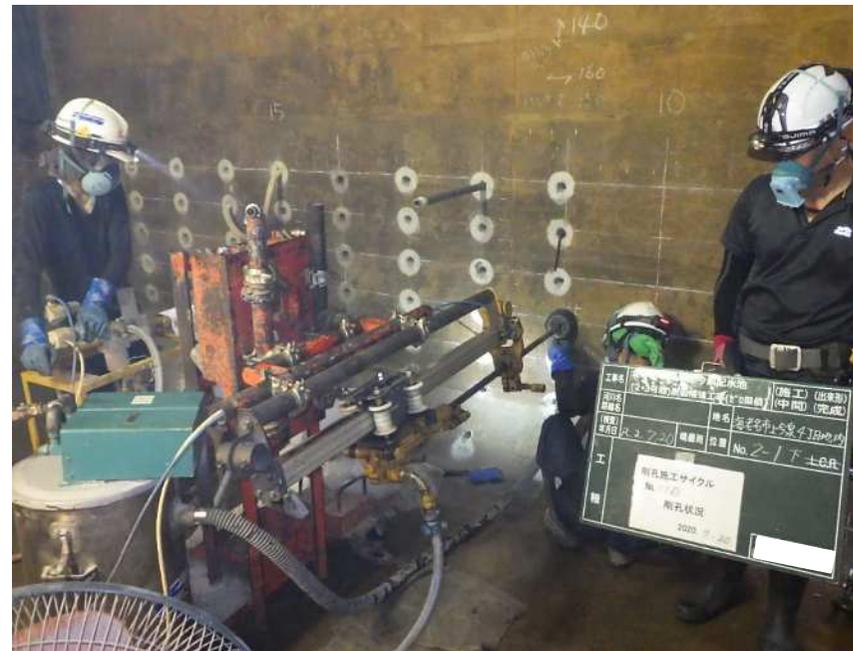


## (4) 災害等に強い水道づくり

### 水道施設耐震化事業の状況 | 写真



上今泉配水池（海老名市）内部の柱の鉄筋を探查している様子



上今泉配水池（海老名市）内部の柱に鉄筋を挿入して補強している様子

## (4) 災害等に強い水道づくり

### 事業内容（危機管理体制の充実）

- 浄水場の火山対策、浸水対策やポンプ所の停電対策を行うほか、他事業者との災害訓練の充実や水道施設の保安対策の強化を図る。

#### 寒川浄水場浸水対策事業

##### 取組状況

- 令和2年度事業費 | 141,985千円
- 相模川や目久尻川の氾濫に備えた寒川浄水場の浸水対策第1段階として、敷地外周フェンス基礎の嵩上げ等を令和2年度に完了した。



浮上式止水板

Kanagawa Prefectural Government

#### 水道施設停電対策事業

##### 取組状況

- 令和2年度事業費 | 123,386千円
- 揚水ポンプ所の停電対策として、令和2年度に移動電源車及び可搬型ディーゼル発電機を配備したほか、鳥屋浄水場に非常用発電設備を設置した。



移動電源車と接続盤

## (6) お客様の信頼の向上

### 事業内容（お客様のニーズを踏まえた事業運営）

- 新たなお客様サービスとしてICTを活用した新たなサービスや、コンビニエンスストアでの支払拡大等に取り組む。

#### LINE等を活用した電子申請

##### 取組状況

- 令和2年度事業費 | 3,499千円
- 県営水道の使用開始・休止手続きについて、LINE等を活用した電子申請の受付を令和元年12月から開始した。



LINEから申込み



神奈川県企業庁LINE公式アカウント



インターネットから申込み



引越れんらく帳

#### 給水装置工事申請状況閲覧システムの構築

##### 取組状況

- 令和2年度事業費 | 40,106千円
- 給水装置工事申請に係る審査の進捗状況をインターネットで確認できるシステムを構築し、令和3年5月から運用を開始した。

給水装置工事の手続きを電子化します

給水装置工事サポートシステム

神奈川県営水道の給水装置工事の手続きがインターネットでできるようになります。



## (6) お客様の信頼の向上

### 事業内容（お客様のニーズを踏まえた事業運営）

#### 神奈川県営水道緊急ダイヤルの開設

##### 取組状況

- 「神奈川県営水道緊急ダイヤル」を令和2年10月に開設し、夜間休日の漏水受付窓口を一元化した。

神奈川県営水道緊急ダイヤル（※夜間・休日等のみ）

ナビダイヤル ☎ 0570-032119

受付：月～金曜日/午後5時15分～翌日午前8時30分

土曜・日曜・祝日及び年末年始（12/29～1/3）/午前8時30分～翌日午前8時30分



#### 支払方法の拡大

##### 取組状況

- 上下水道料金のキャッシュレス支払方法として、令和3年1月に「ファミペイ」を追加導入した。

上下水道料金のキャッシュレス支払方法

**モバイルレジ**

モバイルレジ  
H27.4～

**LINE Pay**

※ラインペイ  
H30.8～

**FamiPay**

ファミペイ  
R3.1～

※国認可の水道事業者として全国初の取組

Kanagawa Prefectural Government

#### ウォーターサーバーの設置

##### 取組状況

- 水道水のPRとプラごみ削減を進めるため、企業庁と鎌倉市が連携して鎌倉駅西口駅前広場にウォーターステーションを設置した。

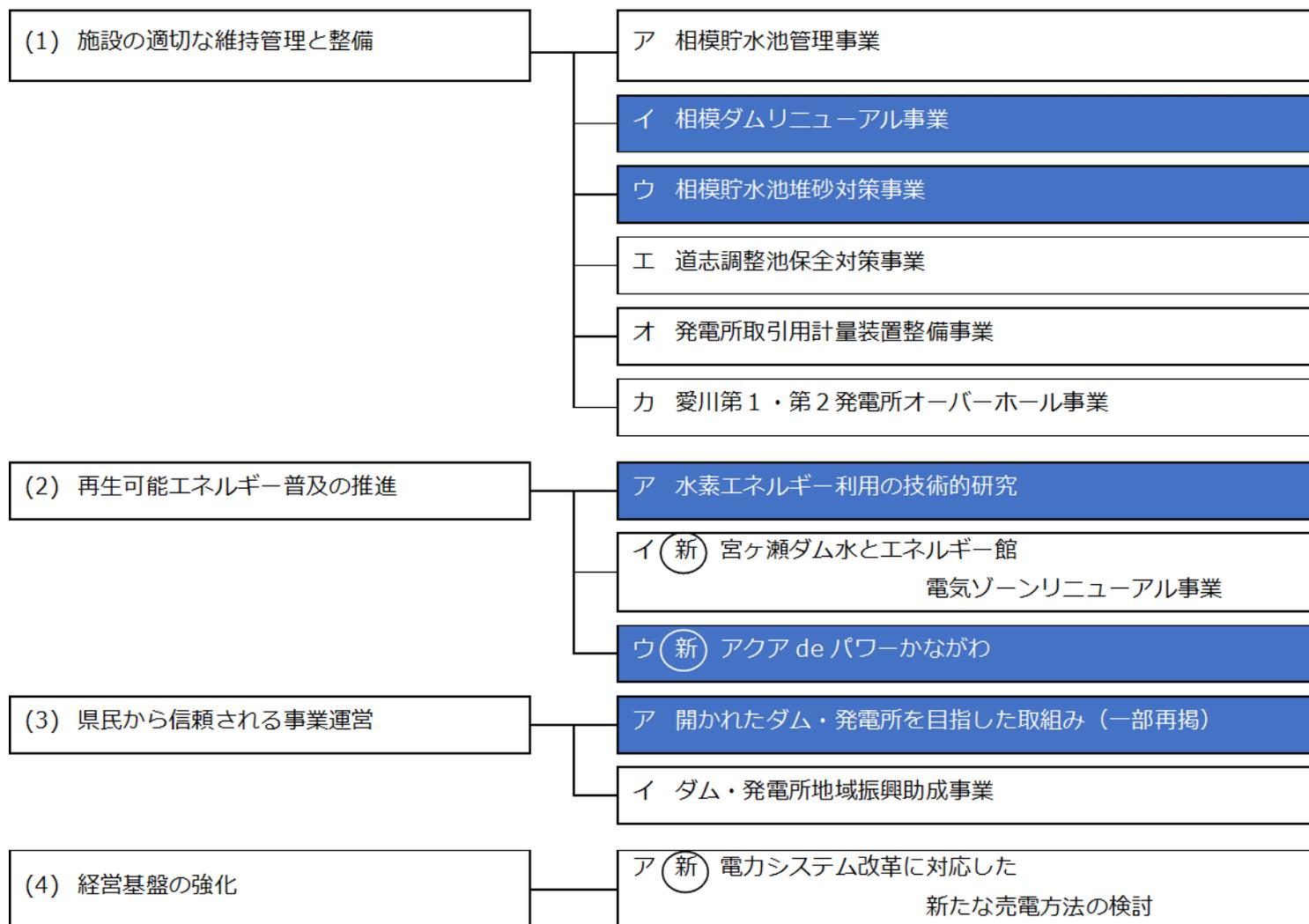


ウォーターステーションのデザインは学校法人岩崎学園横浜デジタルアーツ専門学校の学生が製作

# 2 電気事業会計

## 2 電気事業

### <主要施策体系図>



# (1) 施設の適切な維持管理と整備

## 相模ダムリニューアル事業

### 事業内容

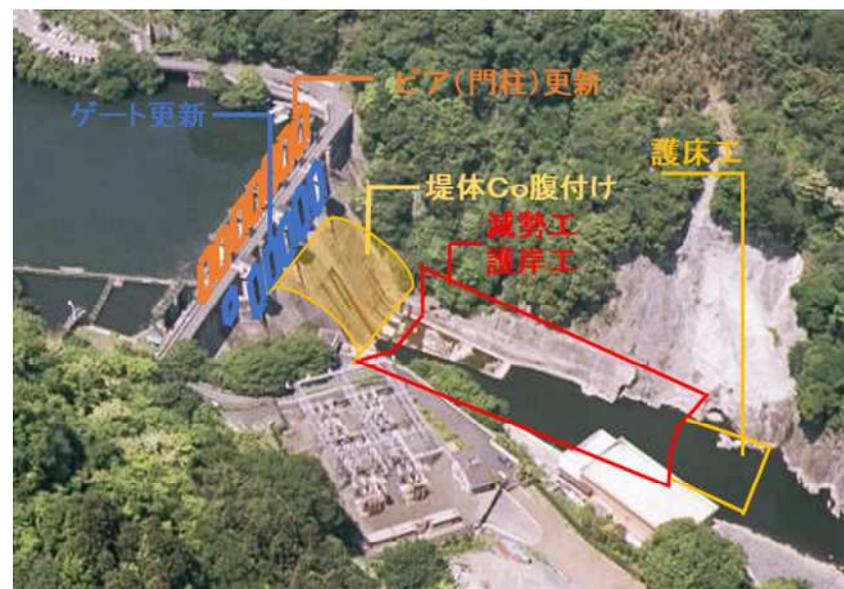
- 令和2年度事業費 | 201,909千円
- 相模ダムを将来にわたり健全に保ち、ダムの機能を維持するため、事業計画に基づき、老朽化したダムのゲート等の取替えや、ダム直下流の洗堀された河床等の保護を行う設計業務等を実施する。

### 事業スケジュール

- |           |          |
|-----------|----------|
| ・調査及び設備工事 | R元～R5年度  |
| ・下流施設工事   | R6～R10年度 |
| ・放流施設工事   | R9～R20年度 |

### 取組状況

- ダムの放流設備及び下流施設の形状、配置等を決定するための水理模型実験や概略設計を令和元年度から令和2年度に実施した。
- ダム下流施設等の施工に必要な工事用道路の用地を令和元年度に取得したほか、工事の支障となる送電線の移設ルートを、令和2年度に東京電力パワーグリッド株式会社と協議し決定した。



相模ダムリニューアル事業図

## (1) 施設の適切な維持管理と整備

### 相模貯水池堆砂対策事業

#### 事業内容

- 令和2年度事業費 | 1,375,726千円
- 上流域の災害防止と、県民の大切な「水がめ」としての機能を確保するため、相模貯水池に堆積した土砂（堆砂）を除去し、しゅんせつした土砂の有効活用を図る。

#### 取組状況

- 令和2年度から令和11年度までの10年間を計画期間とした「相模貯水池堆砂対策事業計画」を新たに策定した。
- 約16万1千 $m^3$ の土砂のしゅんせつを実施した。



しゅんせつの様子

## (2) 再生可能エネルギー普及の推進

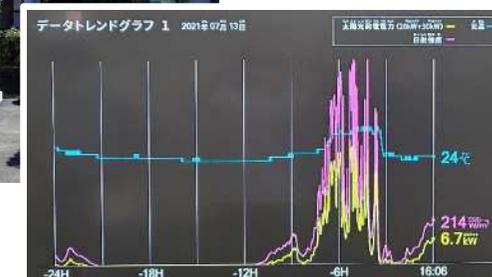
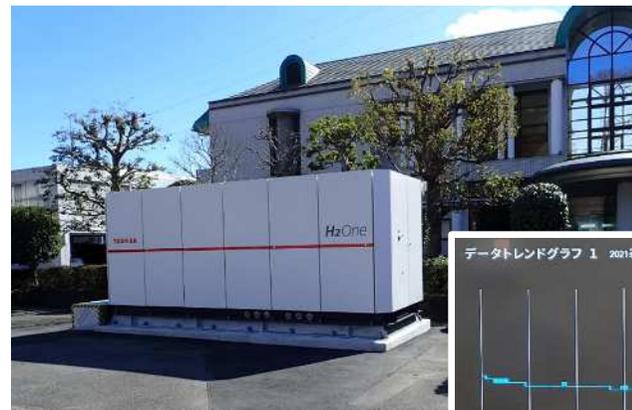
### 水素エネルギー利用の技術的研究

#### 事業内容

- 令和2年度事業費 | 210,267千円
- 水素エネルギー利用の動向を見据え、県営電気事業として事業化の可能性も含め、設備の運用や維持管理に関するノウハウの習得を図るとともに、水素エネルギーとしての利用方法について研究する。

#### 取組状況

- 既設の城山ソーラーガーデンで発電した電気を水素に変換するための「水素エネルギー供給設備」の設置を令和2年度に完了し、隣接する相模川発電管理事務所での運用を開始した。



水素エネルギー供給設備  
(設置場所：相模川発電管理事務所駐車場内)

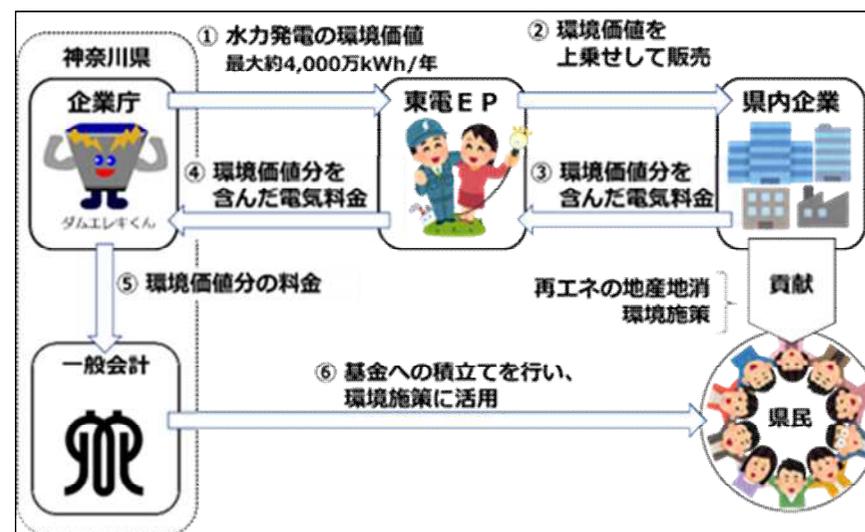
## (2) 再生可能エネルギー普及の推進

### 事業内容（地産地消の推進）

- 再生可能エネルギーで発電した電力の地産地消の取組を進める。

### 取組状況

- 固定価格買取制度の対象となっている早戸川発電所、愛川太陽光発電所及び谷ヶ原太陽光発電所で発電した電気について、県内の小売電気事業者との令和4年度までのパートナー契約に基づき、地産地消に活用している。
- 県と企業庁、東京電力エナジーパートナー株式会社で「アクアdeパワーかながわ」に係る協定を令和元年12月に締結し、企業庁の発電した電気の利用した事業スキームを構築した。
- 令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、申込者数は※0者であった。



「アクアdeパワーかながわ」事業スキーム

※令和3年4月1日より3者、  
令和3年6月1日より1者へ供給を開始

## (3) 県民から信頼される事業運営

### 開かれたダム・発電所を目指した取組み 事業内容

- ダムの貯水状況や放流情報等の県民に役立つ情報を充実してわかりやすく提供するとともに、ダムや発電所に親しみを持ってもらうため、積極的な広報を行うほか、ダム等を観光資源として活用した取組を進める。

### 取組状況

- 令和2年度から、相模ダムリニューアル事業の進捗状況の情報発信をホームページで行っている。



ホームページ抜粋

## 3 公営企業資金等運用事業

### 地域振興施設等整備事業

企業庁の資金・技術力を活用し、市町村からの整備要請に基づいて地域振興に資する施設を整備し、有償で譲渡する。

#### 1 山北町洒水の滝遊歩道整備事業（令和3年度末完成予定） | 90,888千円



山北町が計画する洒水の滝遊歩道整備事業について、町の要請を受け、周辺施設の整備を行う。令和2年度は、新たな遊歩道の整備及び周辺の落石対策工事等を実施した。

#### 2 寒川町営プール整備事業（令和3年夏季オープン） | 396,268千円



老朽化により平成25年度から休止中の寒川町営プール施設について、町の要請を受け、再整備を行う。令和2年度は、リニューアル工事を実施した。

#### 3 寒川町学校給食センター整備事業（令和4年度末完成、令和5年9月開業予定） | -千円



小・中学校に給食を提供する給食センターの整備について、寒川町が実施する基本・実施設計に対し、令和2年度は、技術協力を実施した。

※令和3年度から寒川町営さむかわ庭球場整備事業を開始

## 3 公営企業資金等運用事業

### ドローン活用強化事業

#### 事業内容

- 令和2年度事業費 | 3,656千円
- 企業庁では、これまでドローンをダム那点検等に試行的に活用してきたが、自動操縦機能などの最新機能を搭載した機種に更新し、企業庁が管理する全てのダムの点検や災害対応等に本格的に活用するほか、水道施設の点検等にも試行的に活用するとともに、操縦研修を実施するなどの操縦人材育成に取り組む。

#### 取組状況

- ドローンを活用し、令和元年東日本台風で被害を受けたダム施設や湖岸崩落等の被災状況の確認や水道施設点検での活用に向けた検証を行った。
- 操縦研修を実施し、人材育成に取り組んだ。

令和2年度

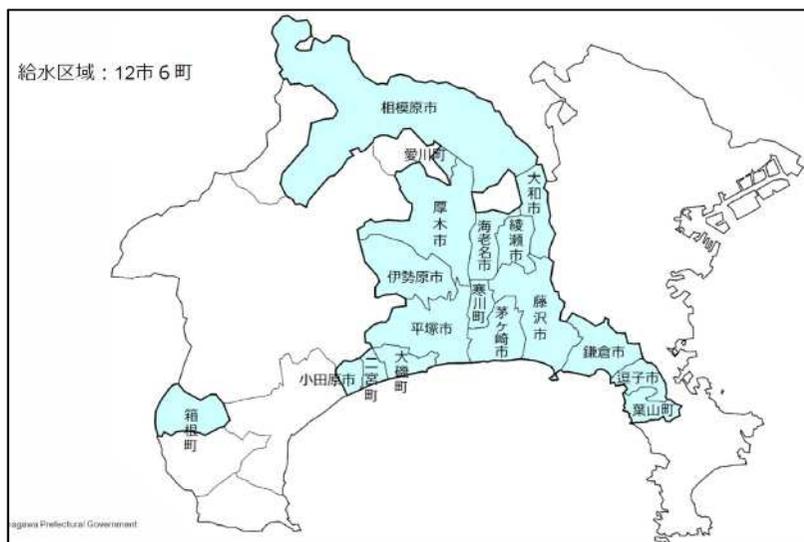
国土交通省 無人航空機の飛行許可承認者数 13名



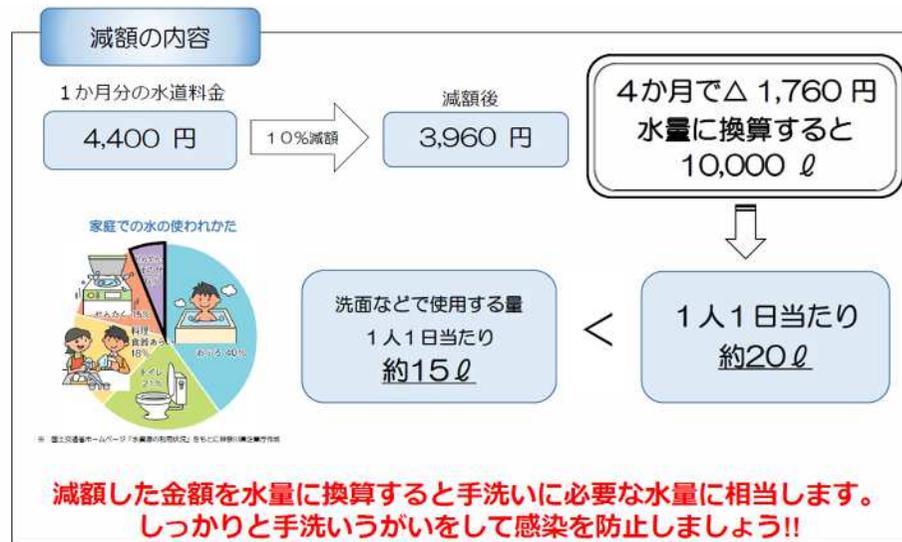
ドローンで撮影した県営林道玄倉線崩落現場

## 新型コロナウイルス感染症への対策（水道料金関係）

- 経済的負担の軽減と、減額相当の水量で手洗い等の徹底の支援を目的とした新型コロナウイルス感染症対策として、令和2年5月から県営水道料金を一律10%、4か月間減額した。
- 新型コロナウイルス感染症の影響により上下水道料金の支払いが困難になった方については、支払いを猶予した。



県営水道の給水区域図



水道料金減額の内容

## Ⅱ 令和2年度公営企業会計決算額総括表

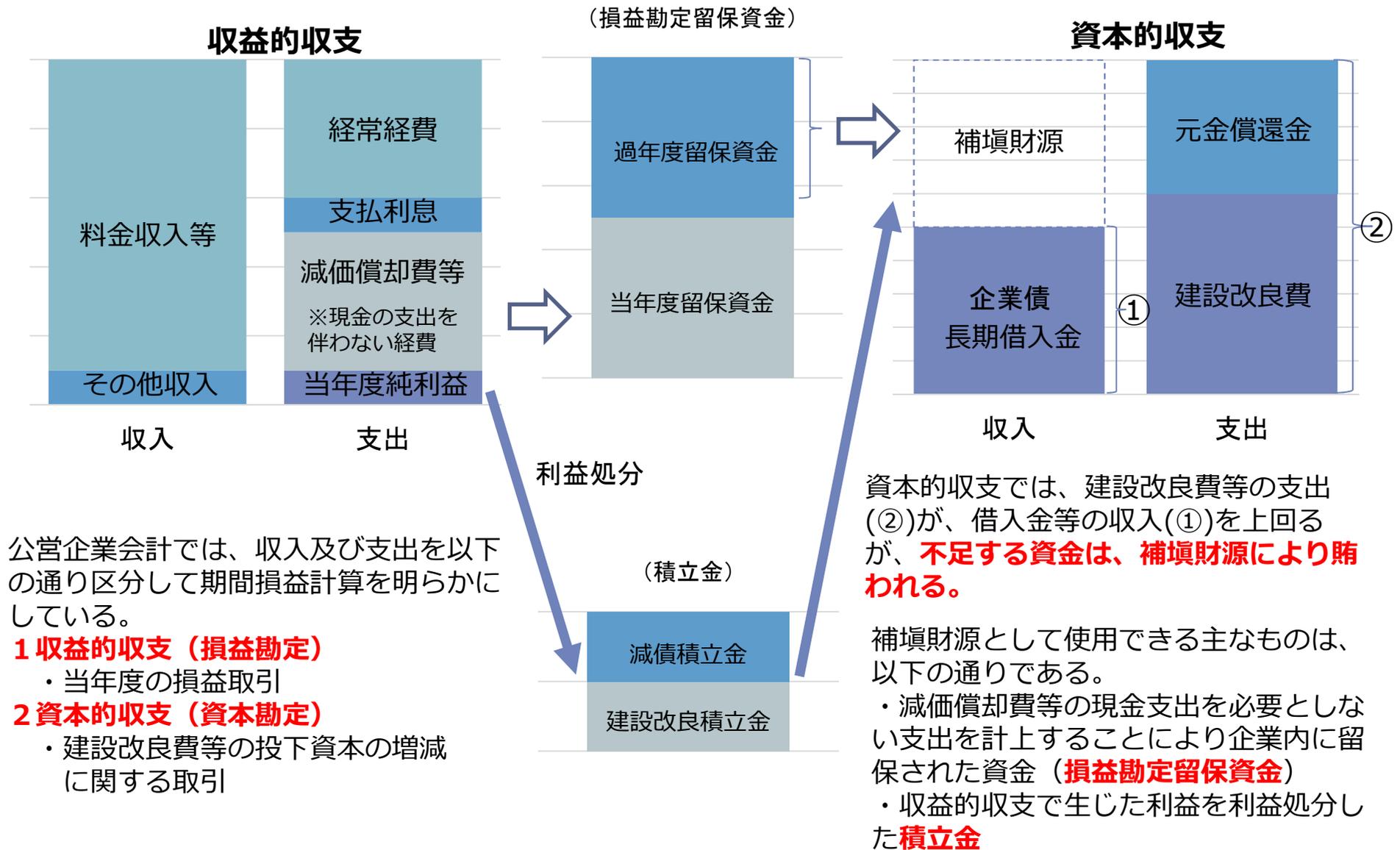
(単位：百万円)

会 計 名	勘定 区分	収入決算額	支出決算額	当年度損益
				補填財源使用額
水道事業会計	損益	58,035	53,056	3,422
	資本	13,310	31,429	△ 18,119
電気事業会計	損益	8,159	7,317	697
	資本	118	2,206	△ 2,088
公営企業資金等 運用事業会計	損益	987	655	311
	資本	3,781	7,689	△ 3,907
相模川総合開発 共同事業会計	損益	1,721	1,721	-
	資本	342	342	-
酒匂川総合開発 事業会計	損益	1,258	1,258	-
	資本	481	481	-
合 計	損益	70,162	64,009	4,431
	資本	18,034	42,149	△ 24,114

(注1) 収入決算額、支出決算額は税込みであり、収入決算額から支出決算額を差し引いた額は当年度損益と一致しない。

(注2) 表及びグラフ等の数字は、端数切捨のため、合計額には一致しない箇所がある(次頁以降同様)。

# (参考) 公営企業会計の仕組み



# 水道事業会計

# 1 決算の概要

## 水道事業会計

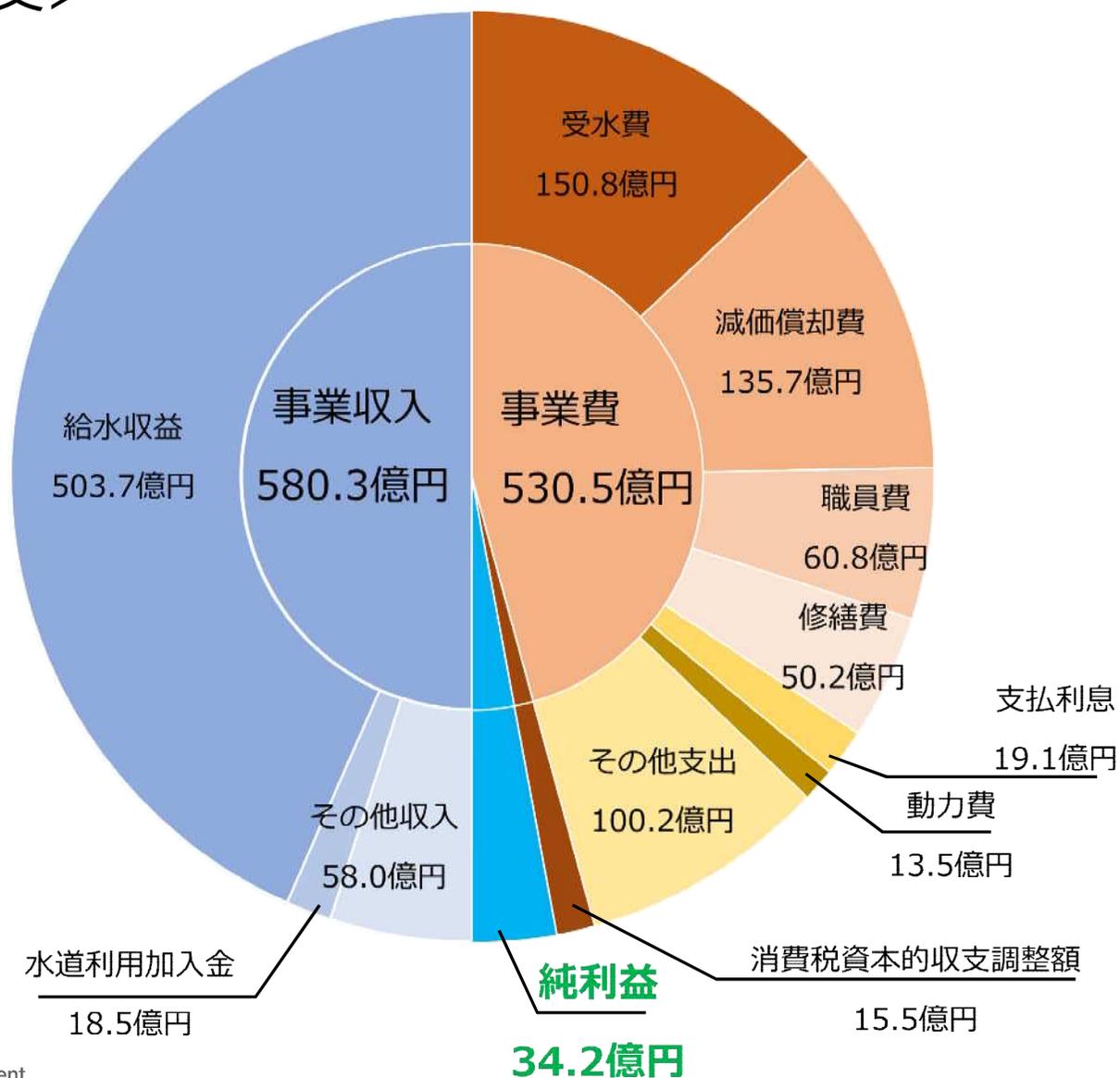
### <収益的収支>

(単位：百万円)

科目等		令和2年度 決算額(A)	令和元年度 決算額(B)	増減 A - B
収益的収入	a	58,035	59,226	△ 1,191
営業収益		53,759	54,901	△ 1,142
給水収益		50,377	51,575	△ 1,197
その他収入		3,381	3,326	55
営業外収益		4,019	4,224	△ 205
水道利用加入金		1,855	1,936	△ 81
その他収入		2,164	2,287	△ 123
特別利益		256	99	156
収益的支出	b	53,056	52,553	502
営業費用		50,514	49,784	729
職員費		6,084	5,992	91
受水費		15,081	14,898	182
動力費		1,355	1,479	△ 124
修繕費		5,028	4,859	168
減価償却費		13,570	13,266	303
その他支出		9,395	9,287	108
営業外費用		2,504	2,760	△ 255
支払利息		1,913	2,186	△ 273
その他支出		591	573	18
特別損失		36	8	27
消費税資本的収支調整額	c	1,556	1,543	13
当年度純利益又は純損失 (a-b-c)	d	3,422	5,129	△ 1,707

# 1 決算の概要

### <収益的収支>

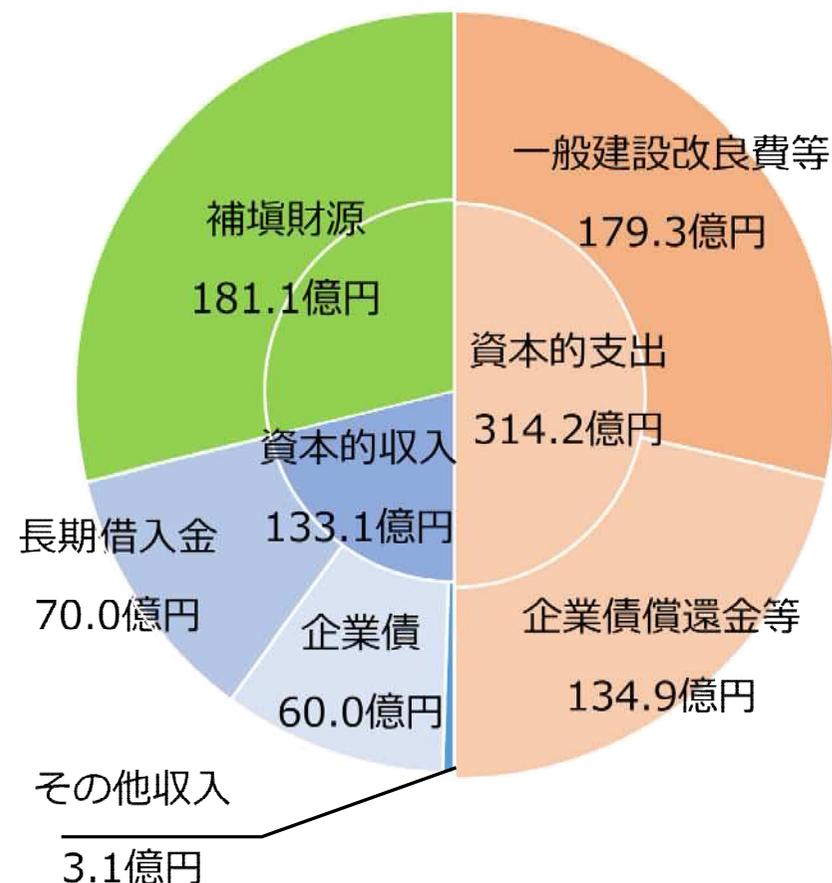


# 1 決算の概要

## ＜資本的収支＞

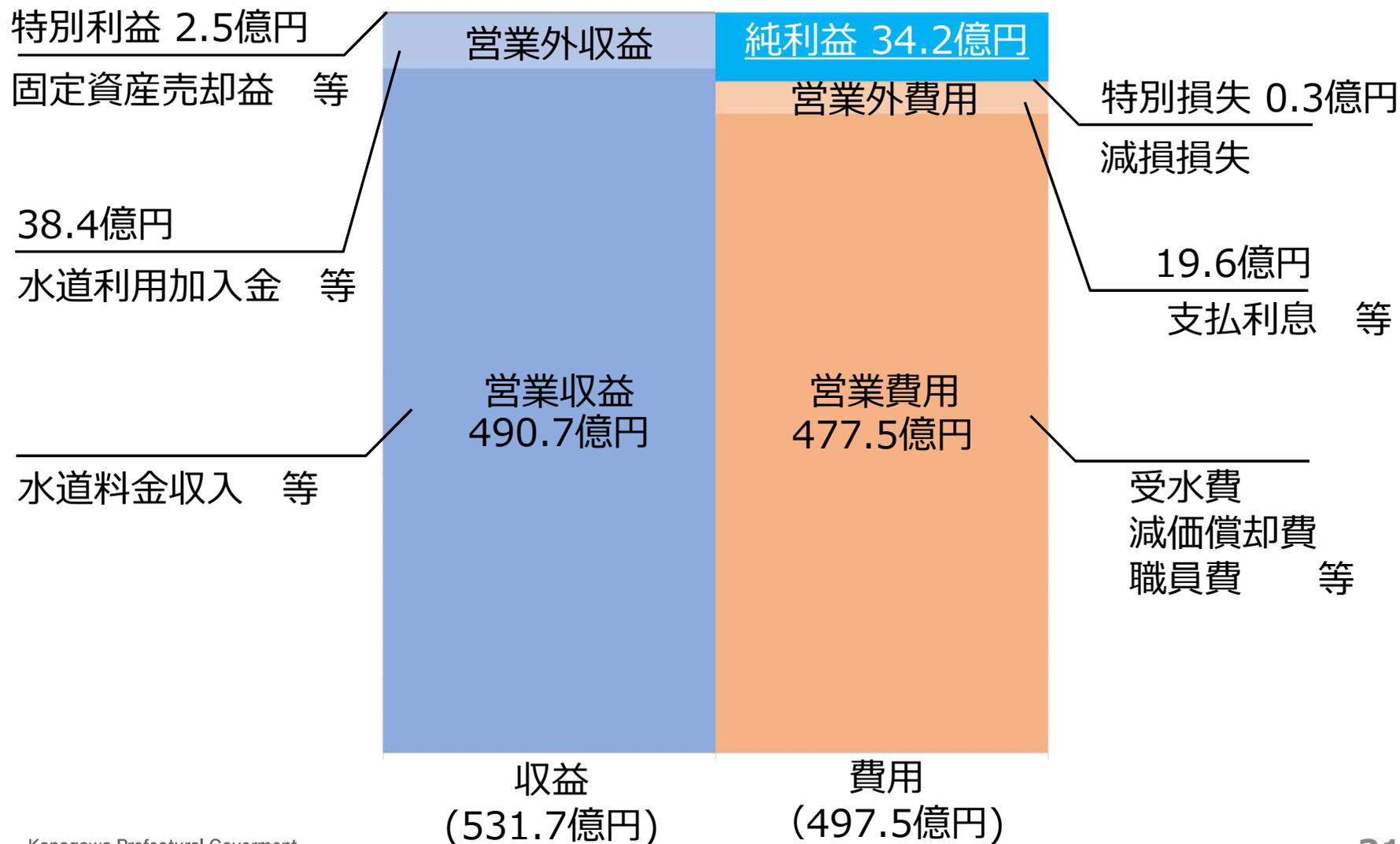
(単位：百万円)

科目等		令和2年度 決算額(A)	令和元年度 決算額(B)	増減 A - B
資本的収入	a	13,310	15,292	△ 1,981
企業債		6,000	9,000	△ 3,000
他会計からの長期借入金		7,000	6,000	1,000
その他収入		310	292	18
資本的支出	b	31,429	34,333	△ 2,903
一般建設改良費等		17,932	19,569	△ 1,637
企業債償還金等		13,497	14,764	△ 1,266
補填財源 (a-b)	c	△ 18,119	△ 19,041	922

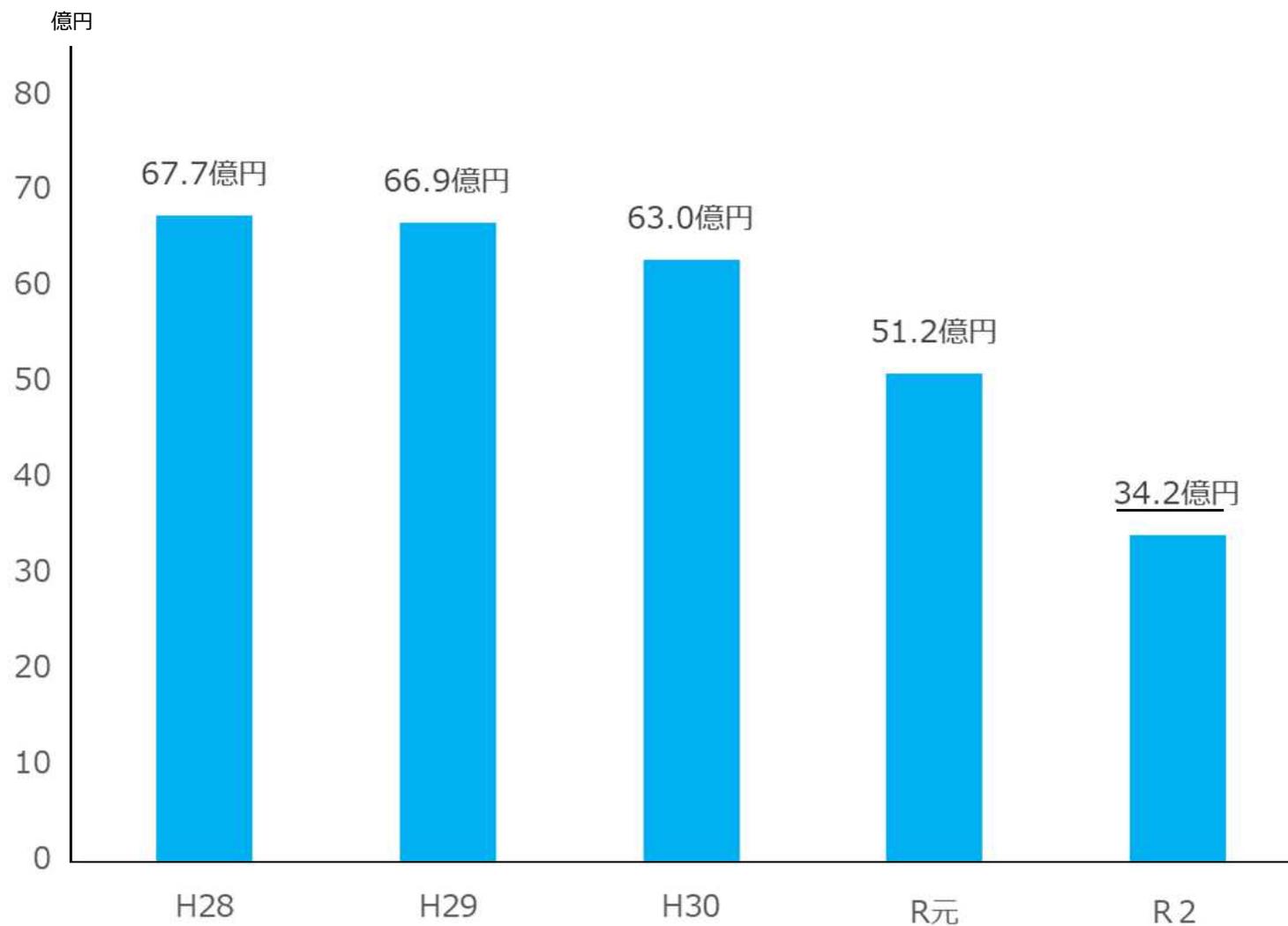


## 2 グラフで見る決算書

### (1) 損益計算書グラフ



### (2) 当年度損益の推移

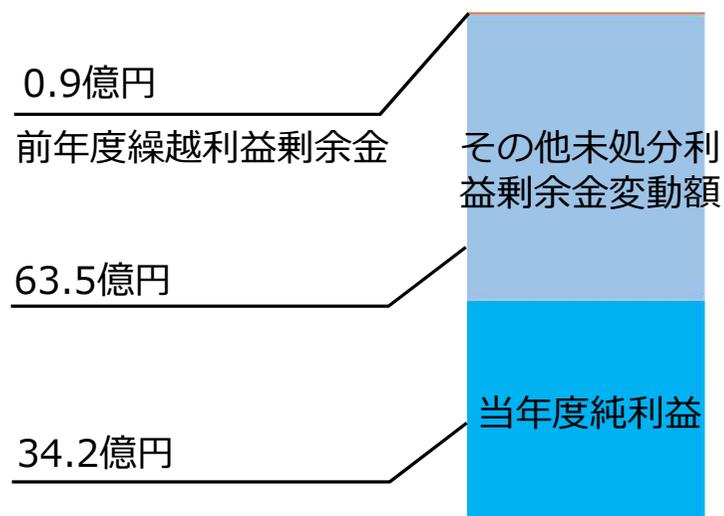


## 2 グラフで見る決算書

### (3) 剰余金の処分

#### ＜当年度未処分利益剰余金＞ (単位：百万円)

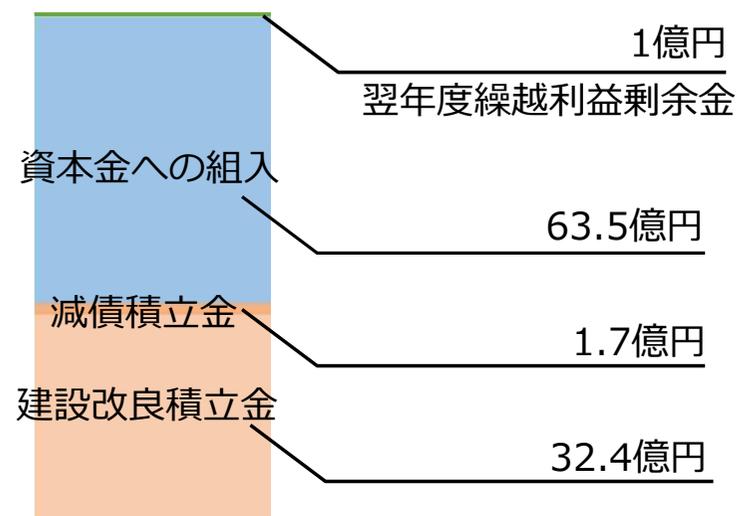
摘要	金額
前年度繰越利益剰余金	91
その他未処分利益剰余金変動額	6,356
当年度純利益	3,422
当年度未処分利益剰余金	9,870



当年度未処分利益剰余金

#### ＜剰余金の処分手案＞ (単位：百万円)

摘要	金額
当年度未処分利益剰余金	9,870
資本金への組入	△ 6,356
減債積立金	△ 172
建設改良積立金	△ 3,242
翌年度繰越利益剰余金	100



剰余金の処分手案

## 2 グラフで見る決算書

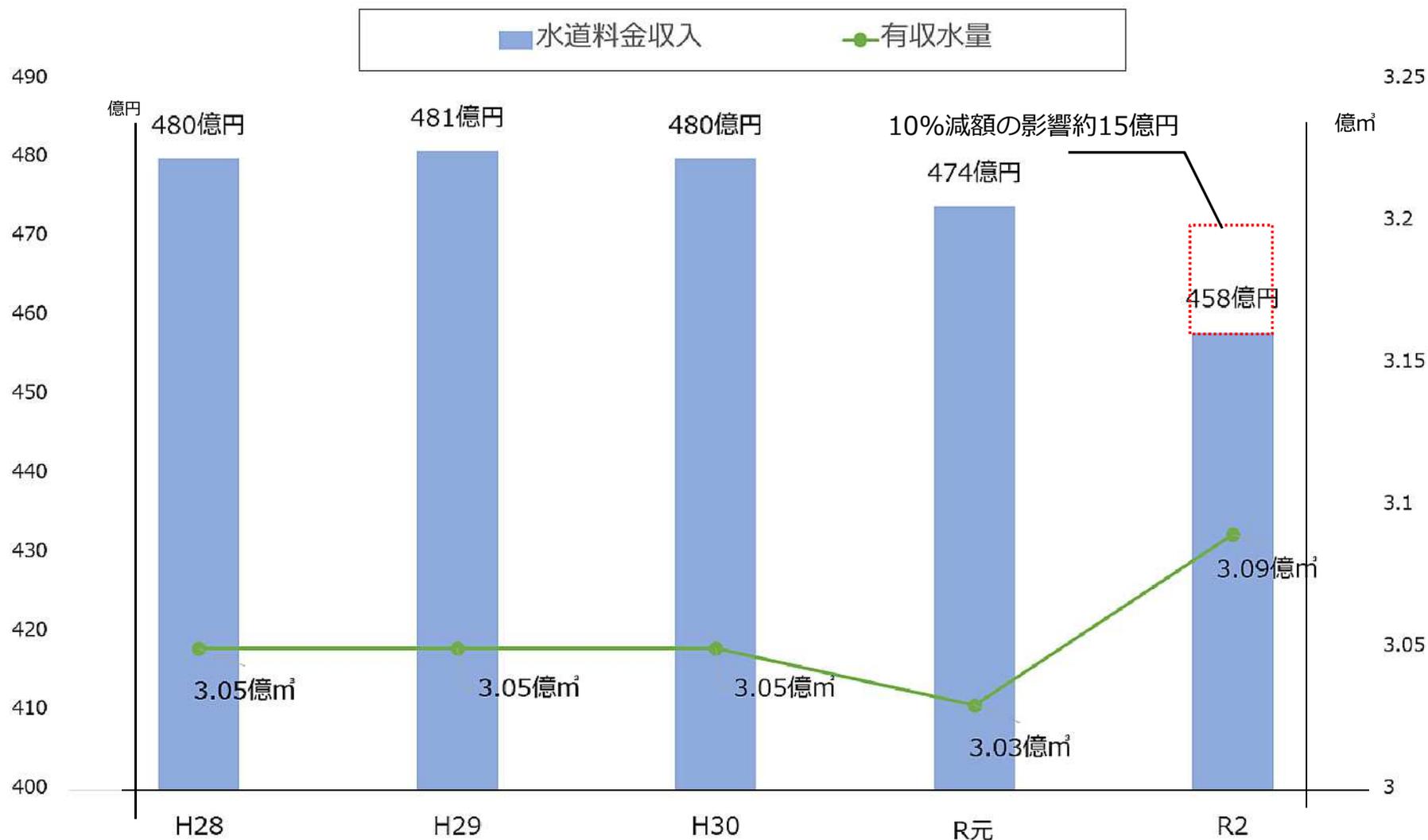
### (4) 水道料金収入

＜水道料金収入の前年度比較＞

区分	年度	令和2年度 (A)	構成比 (%)	令和元年度 (B)	構成比 (%)	比較増減 (A)－(B)	前年対比 (A)/(B)(%)
給水区域		12市6町	-	12市6町	-	-	-
給水戸数		1,372,807 戸	-	1,359,322 戸	-	13,485 戸	101.0
給水人口		2,833,291 人	-	2,826,838 人	-	6,453 人	100.2
有収水量		309,480,580 m <sup>3</sup>	-	303,032,693 m <sup>3</sup>	-	6,447,887 m <sup>3</sup>	102.1
水道料金 (税込)		50,377,340 千円	100.0	51,575,327 千円	100.0	△1,197,987 千円	97.7
水道料金 (税抜)		45,811,254	-	47,460,611	-	△1,649,357	96.5
使用 区 分 ( 税 込 )	家事用	35,334,340 千円	70.1	33,946,129 千円	65.8	1,388,210 千円	104.1
	業務用	13,792,596	27.4	16,398,911	31.8	△2,606,315	84.1
	営業用	(7,808,660)	(15.5)	(9,230,319)	(17.9)	(△ 1,421,659)	(84.6)
	公共用	(1,924,451)	(3.8)	(2,466,688)	(4.8)	(△ 542,236)	(78.0)
	工業用	(4,059,484)	(8.1)	(4,701,903)	(9.1)	(△ 642,419)	(86.3)
	浴場用	14,067	0.1	38,124	0.1	△24,056	36.9
	浴場用	(3,551)	(0.0)	(3,437)	(0.0)	(114)	(103.3)
	プール用	(10,515)	(0.0)	(34,686)	(0.1)	(△ 24,170)	(30.3)
	一時用	268,832	0.5	237,936	0.5	30,895	113.0
	分水	967,503	1.9	954,225	1.8	13,278	101.4

## 2 グラフで見る決算書

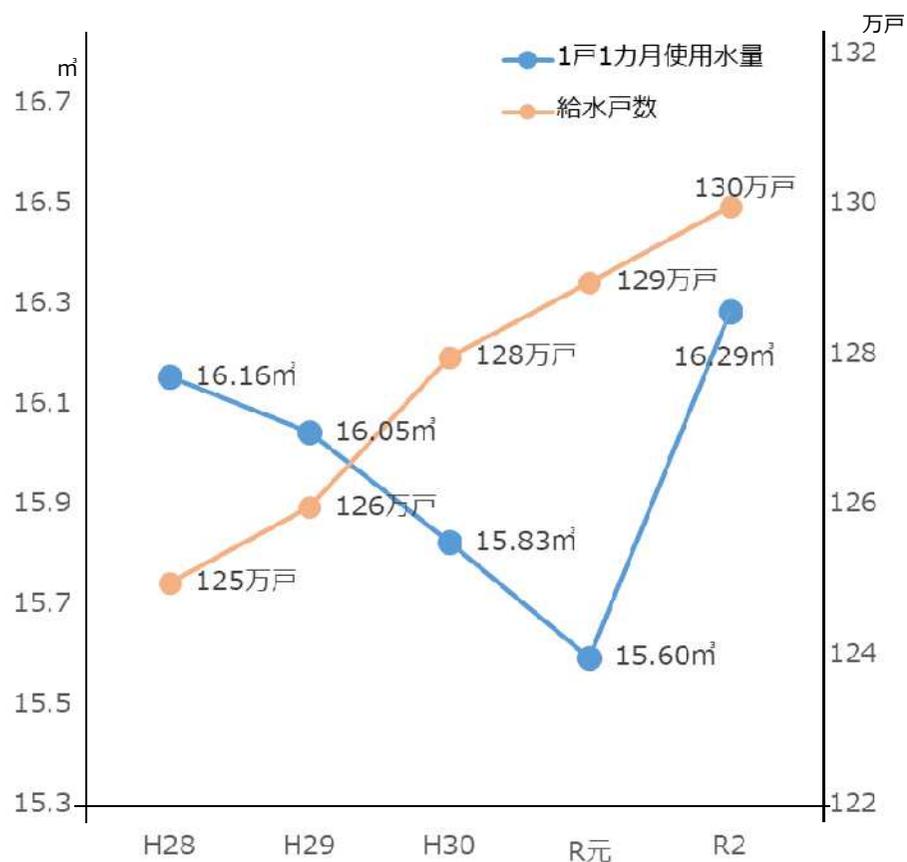
### <水道料金収入（税抜き）と有収水量の推移>



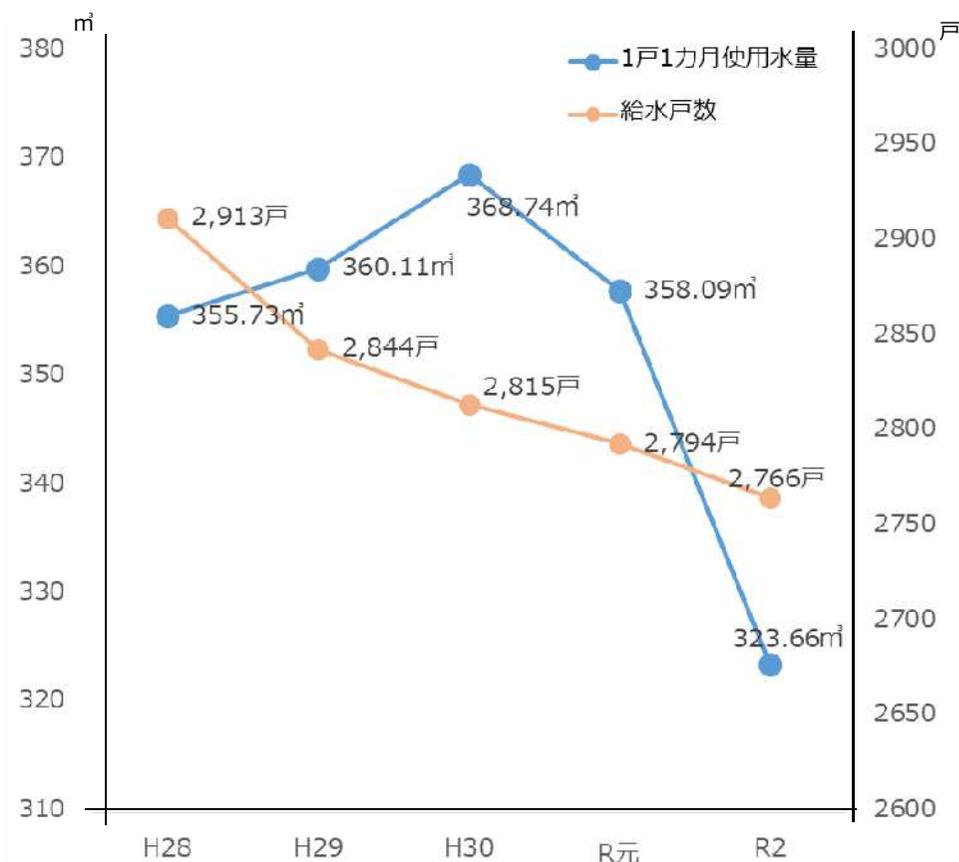
## 2 グラフで見る決算書

＜参考＞ 家事用・工業用の1戸1か月使用水量と給水戸数の推移

### ＜家事用＞



### ＜工業用＞



### (5) 水道料金の免除の状況

#### 免除の概要

令和2年4月1日から令和3年3月31日までの間に督促から5年を経過し、かつ債務者の所在不明等により納入見込みのない水道料金について、神奈川県営上水道条例に基づき免除する。

#### 件数及び金額の合計額

13,479件、35,825,532円（令和元年度 12,525件、33,562,887円）

#### 免除の内訳

##### 理由別内訳

- ・ 債務者の所在不明  
13,385件 35,223,548円
- ・ 債務者の破産  
94件 601,984円

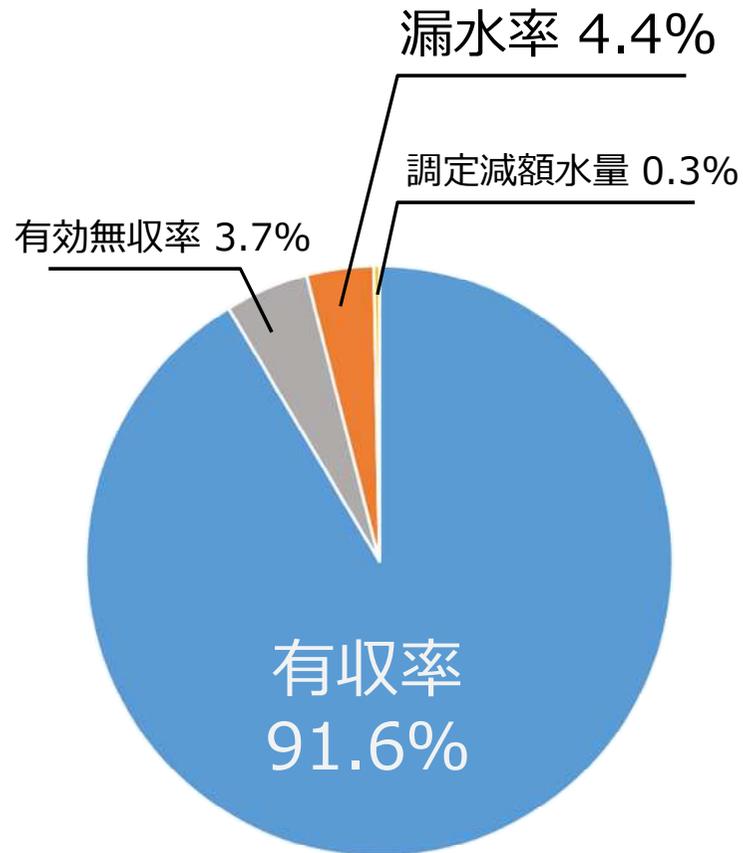
##### 用途別内訳

- ・ 家事用  
12,892件 30,032,453円
- ・ 業務用他  
587件 5,793,079円

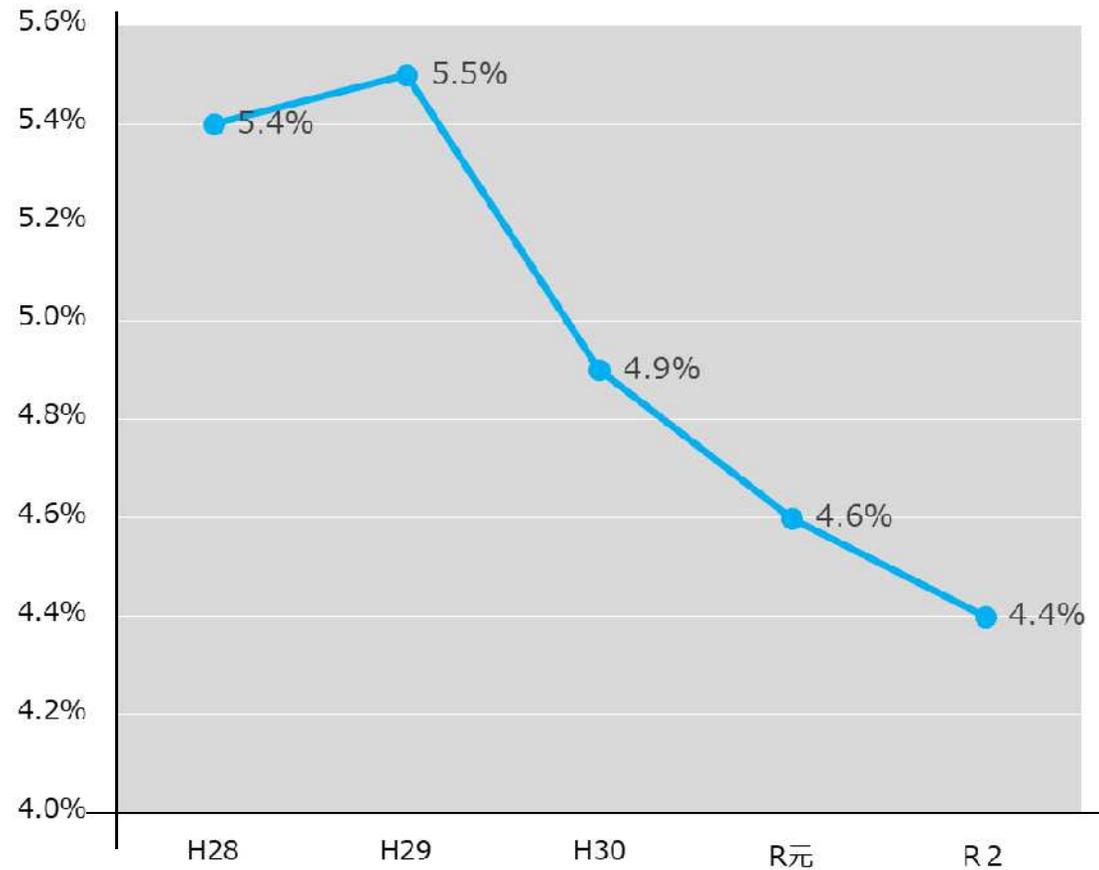
金額帯		件数
500,001円以上		0件
100,001円以上	500,000円以下	20件
10,001円以上	100,000円以下	311件
10,000円以下		13,148件
合計		13,479件

### (6) 漏水率の推移

＜送水量分析＞

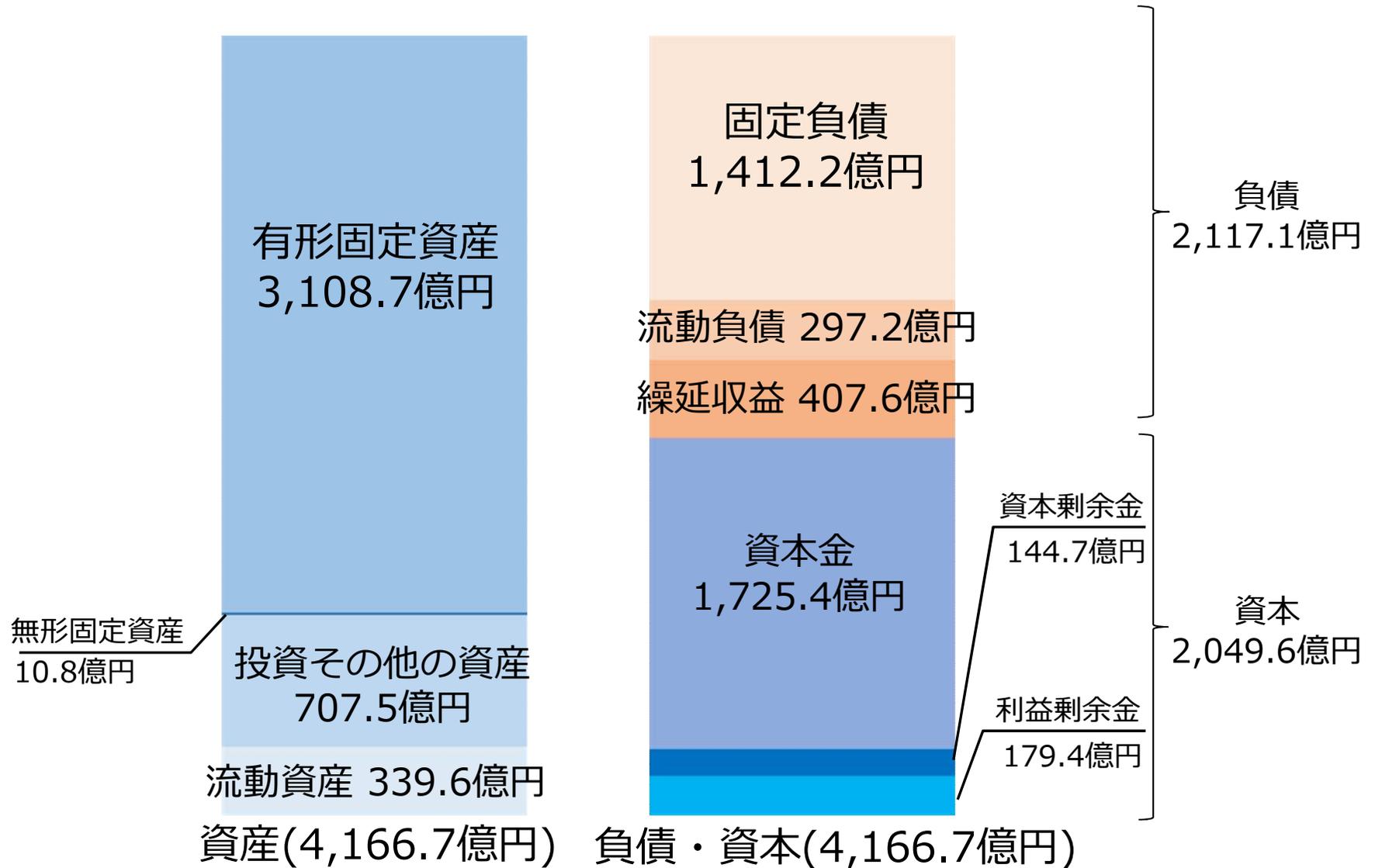


＜漏水率の推移(%)＞



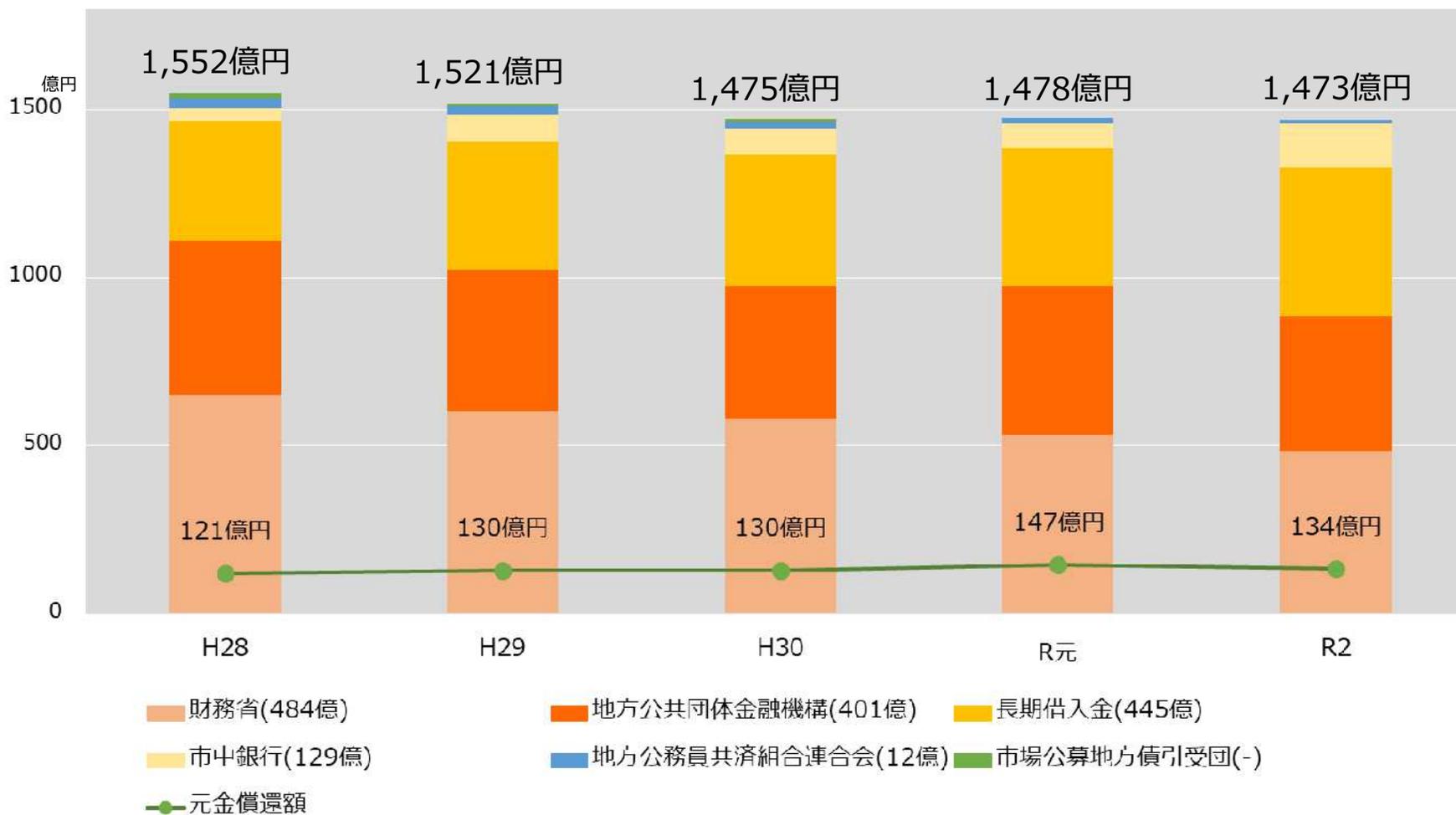
## 2 グラフで見る決算書

### (7) 貸借対照表グラフ



## 2 グラフで見る決算書

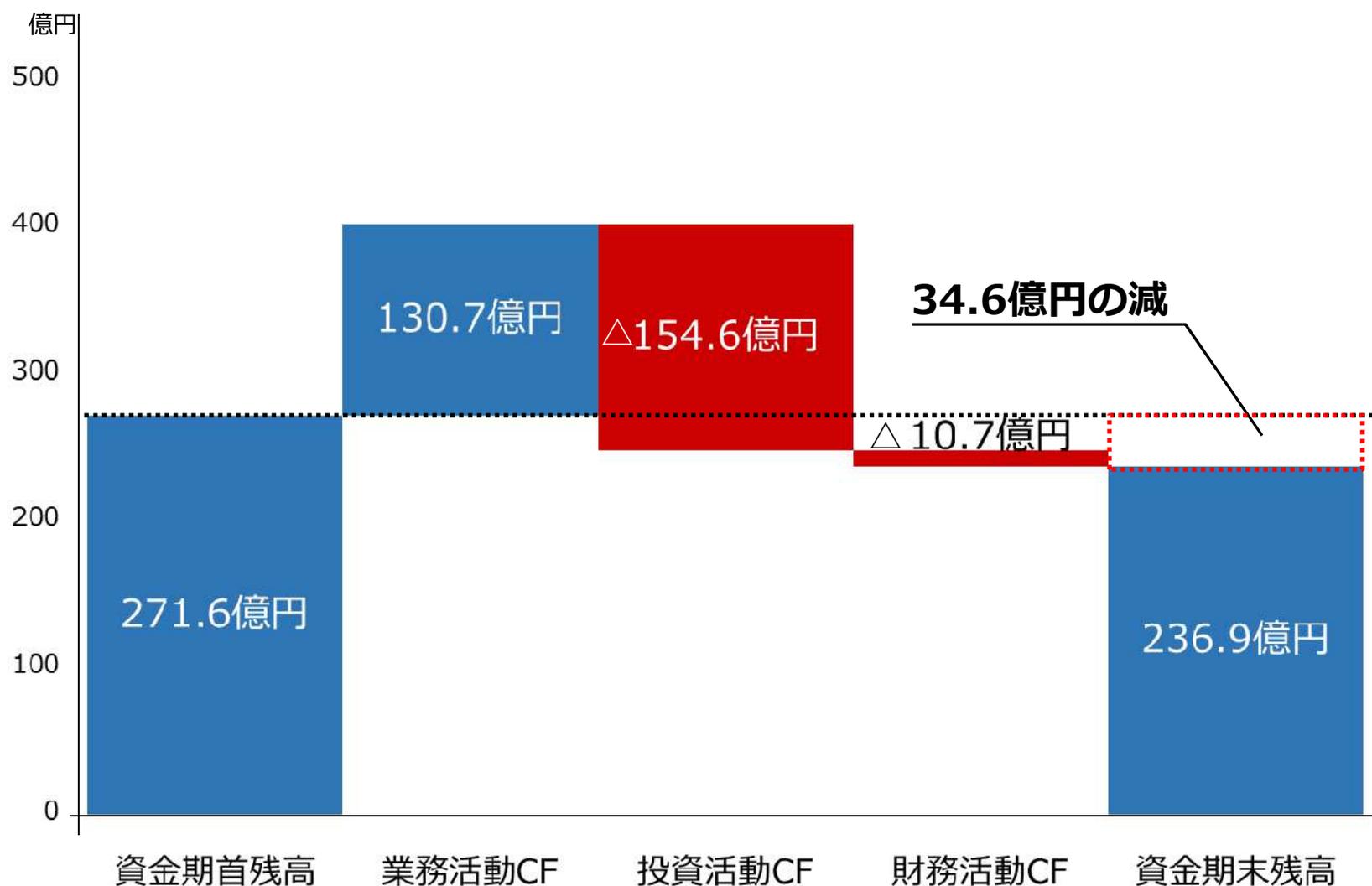
### (8) 企業債・長期借入金残高の推移



※ ( ) 内は、令和2年度末の残高である。

## 2 グラフで見る決算書

### (9) キャッシュフローグラフ



## 2 グラフで見る決算書

## 水道事業会計

〈参考〉神奈川県営水道事業経営計画における財政収支見通しとの比較(単位:億円)

科目等		年度	令和2年度 決算額	令和2年度 経営計画	計画比増減
			A	B	A-B
収益的 収支	収益的収入	a	580	603	△ 23
	水道料金		504	518	△ 14
	水道利用加入金		18	23	△ 5
	その他収入		58	62	△ 4
	収益的支出	b	531	557	△ 26
	消費税資本的収支調整額	c	15	18	△ 3
資本的 収支	当年度利益剰余金又は欠損金 (a-b-c)	d	34	28	6
	資本的収入	①	133	132	1
	資本的支出	②	314	320	△ 6
	建設改良事業費等		179	184	△ 5
資金 収支	元金償還金		135	136	△ 1
	資本的収支財源過不足額(①-②)	③	△ 181	△ 188	7
資金 収支	資本的収支不足額の補填財源	④	170	173	△ 3
	当年度分資金収支(③+④)	⑤	△ 11	△ 15	4
	資金残高		173	121	52

# 電気事業会計

# 1 決算の概要

## 電気事業会計

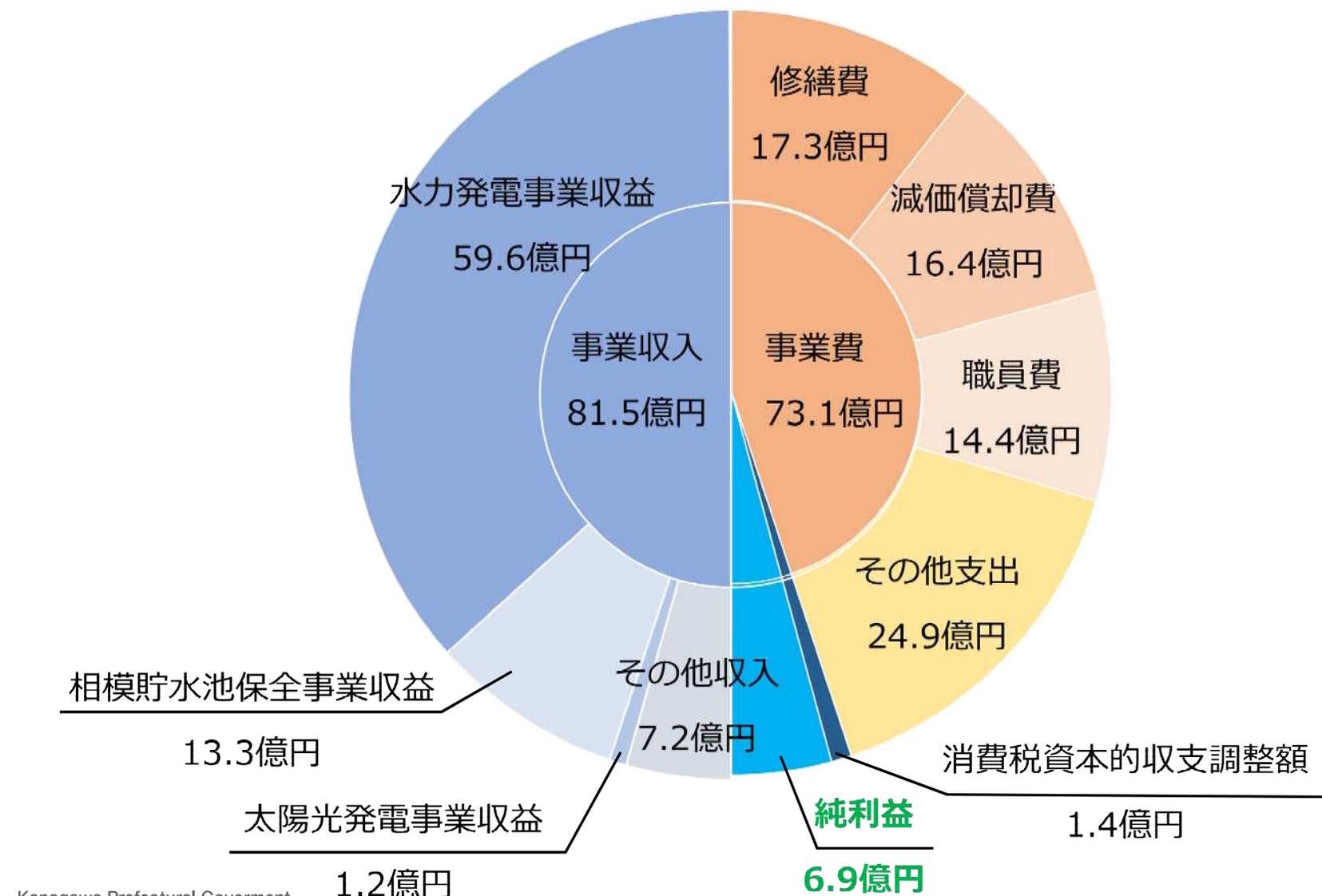
### <収益的収支>

(単位：百万円)

科目等	令和2年度 決算額(A)	令和元年度 決算額(B)	増減 A - B
収益的収入 a	8,159	8,557	△ 398
営業収益	8,049	8,401	△ 352
水力発電事業収益	5,968	6,342	△ 374
太陽光発電事業収益	127	123	3
相模貯水池保全事業収益	1,338	1,272	66
その他収入	615	663	△ 48
財務収益(受取利息)	19	18	0
事業外収益	90	133	△ 43
特別利益	0	2	△ 2
収益的支出 b	7,317	7,902	△ 584
営業費用	6,882	7,304	△ 422
職員費	1,444	1,498	△ 53
修繕費	1,738	1,742	△ 4
減価償却費	1,641	1,804	△ 163
その他支出	2,058	2,259	△ 200
財務費用(支払利息)	79	102	△ 23
事業外費用	356	495	△ 138
消費税資本的収支調整額 c	143	48	95
当年度純利益又は純損失 (a-b-c) d	697	606	91

# 1 決算の概要

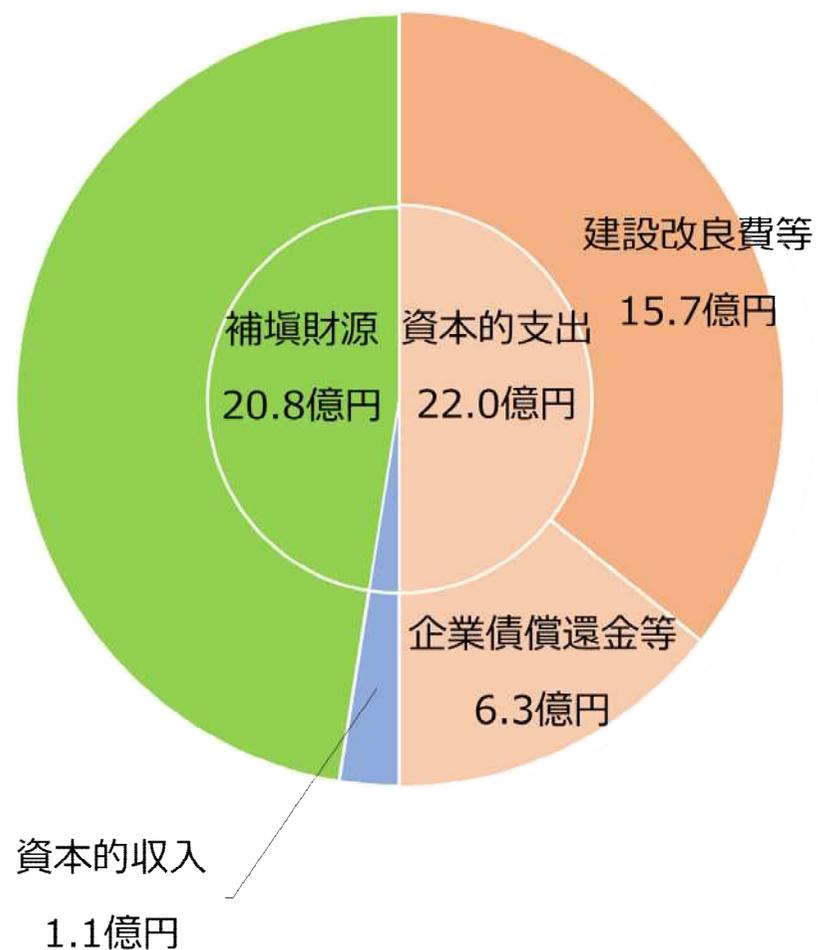
<収益的収支>



### <資本的収支>

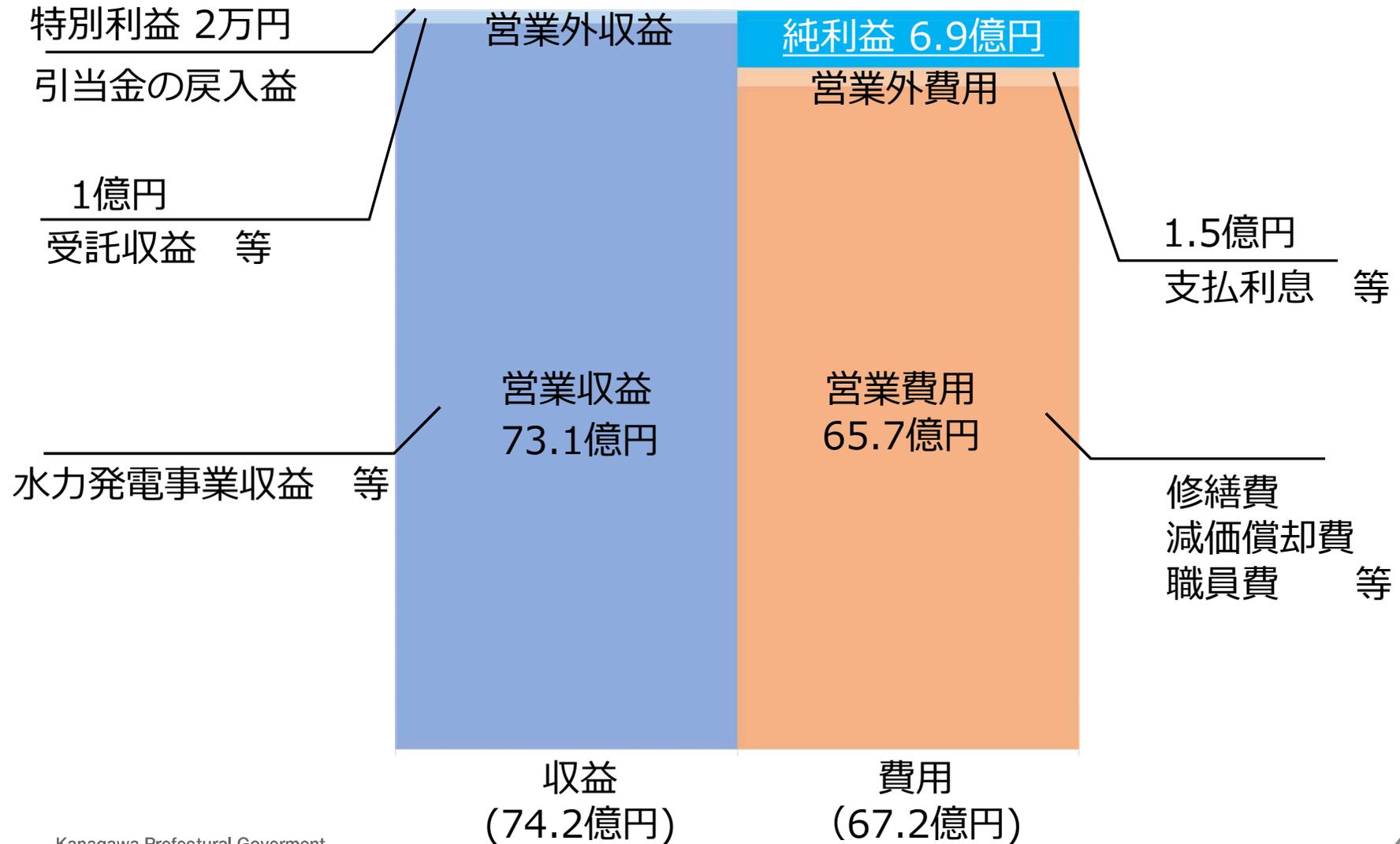
(単位：百万円)

科目等		令和2年度 決算額(A)	令和元年度 決算額(B)	増減 A - B
資本的収入	a	118	4	114
運用資金償還金		2	2	0
補助金		116	2	114
資本的支出	b	2,206	1,304	902
建設改良費等		1,573	597	975
企業債償還金等		633	706	△ 72
補填財源 (a-b)	c	△ 2,088	△ 1,300	△ 788

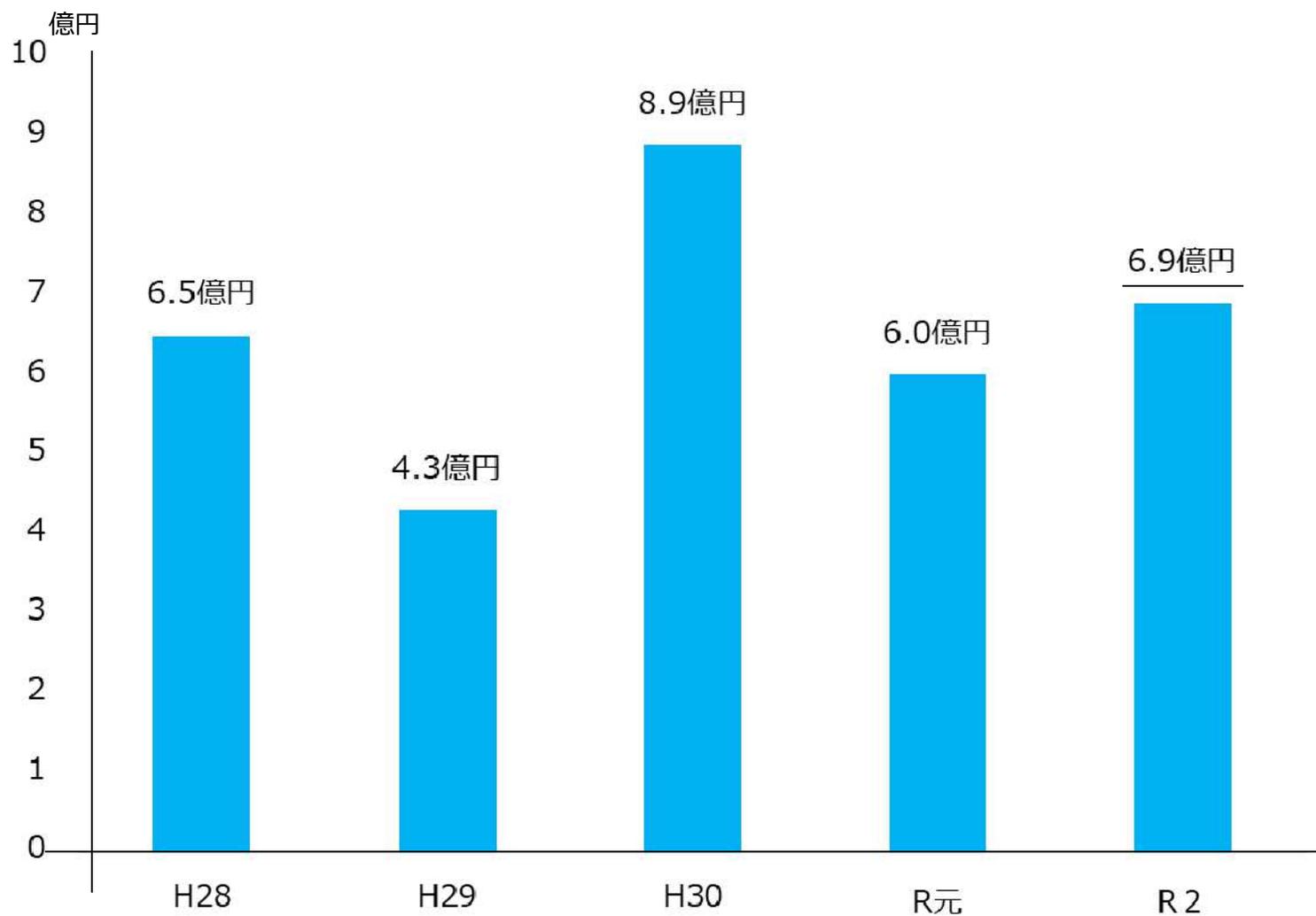


## 2 グラフで見る決算書

### (1) 損益計算書グラフ



### (2) 当年度損益の推移

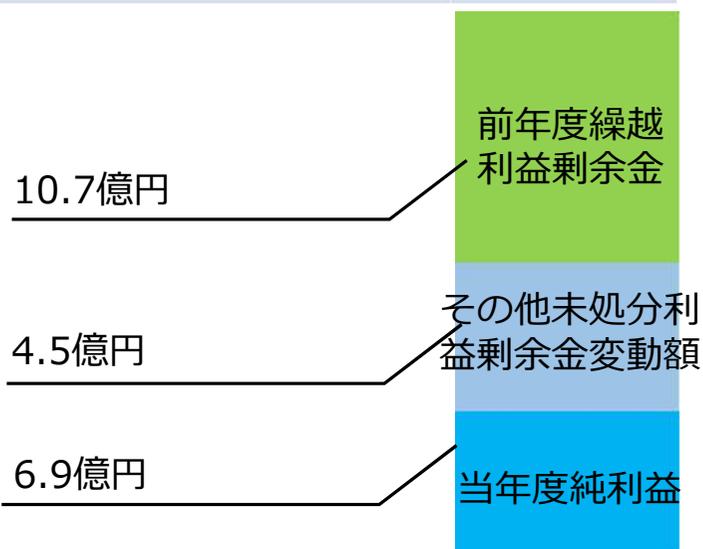


## 2 グラフで見る決算書

### (3) 剰余金の処分

#### <当年度末処分利益剰余金> (単位：百万円)

摘要	金額
前年度繰越利益剰余金	1,077
その他未処分利益剰余金変動額	450
当年度純利益	697
当年度末処分利益剰余金	2,224

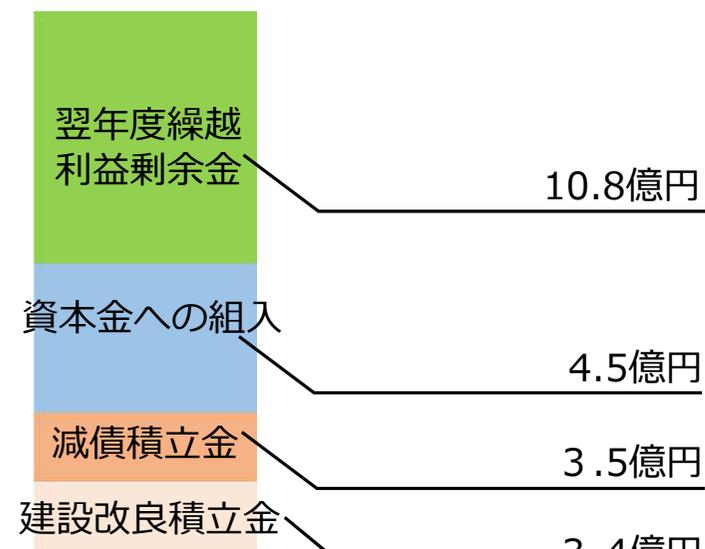


当年度末処分利益剰余金

#### <剰余金の処分案>

(単位：百万円)

摘要	金額
当年度末処分利益剰余金	2,224
資本金への組入	△ 450
減債積立金	△ 350
建設改良積立金	△ 340
翌年度繰越利益剰余金	1,084

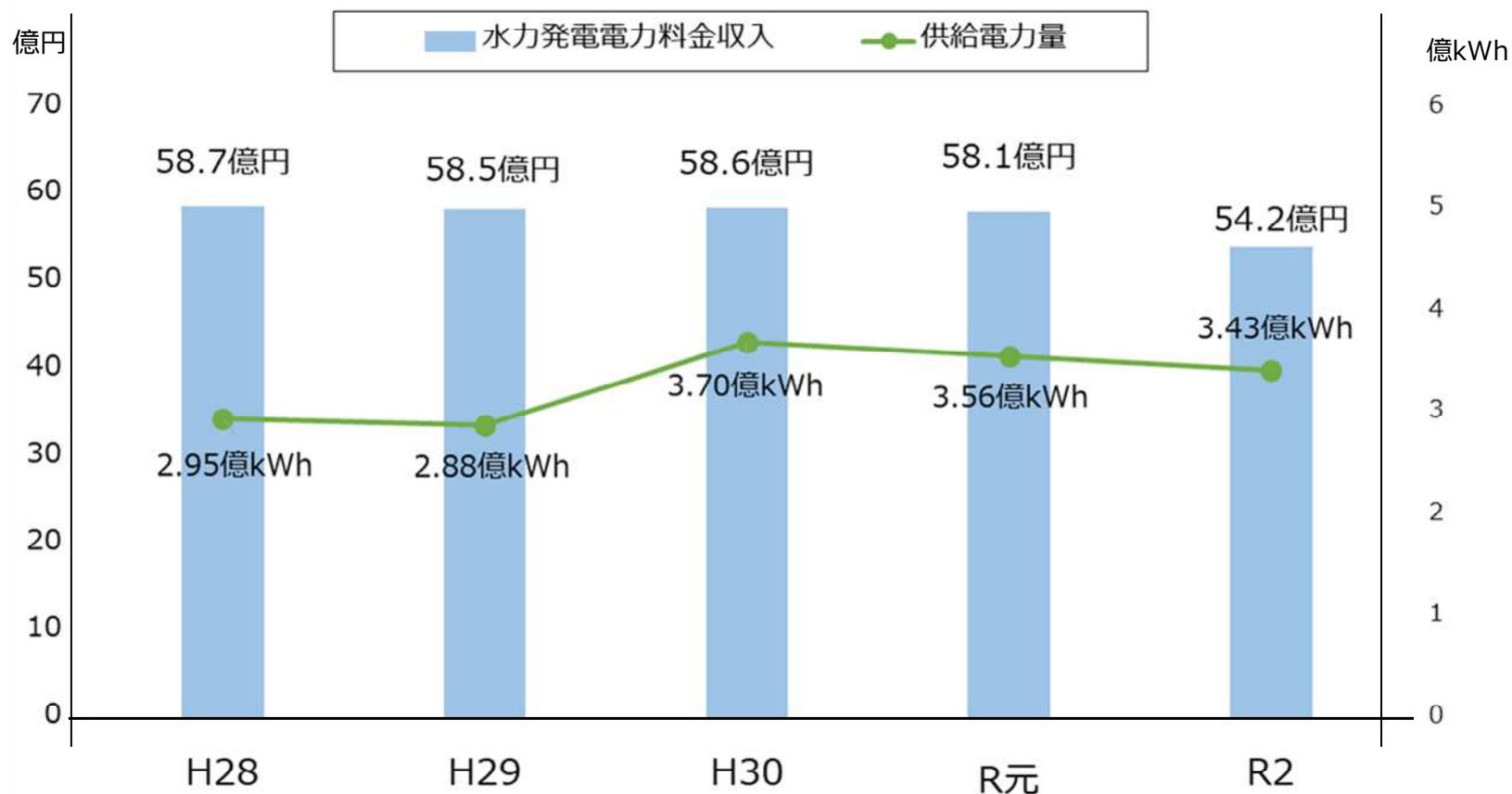


剰余金の処分案

## 2 グラフで見る決算書

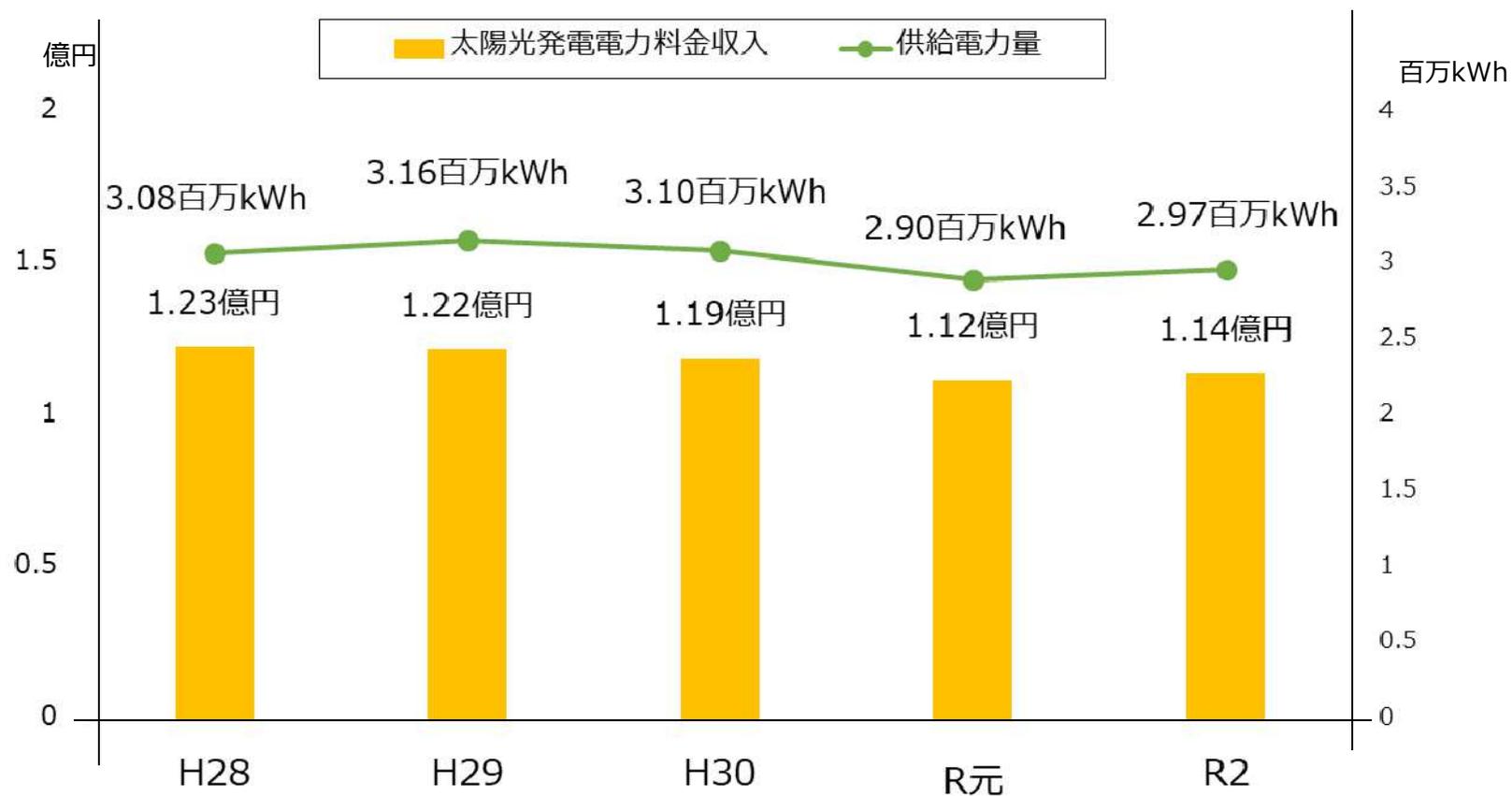
### (4) 電力料金収入

＜水力発電電力料金収入（税抜き）と供給電力量の推移＞



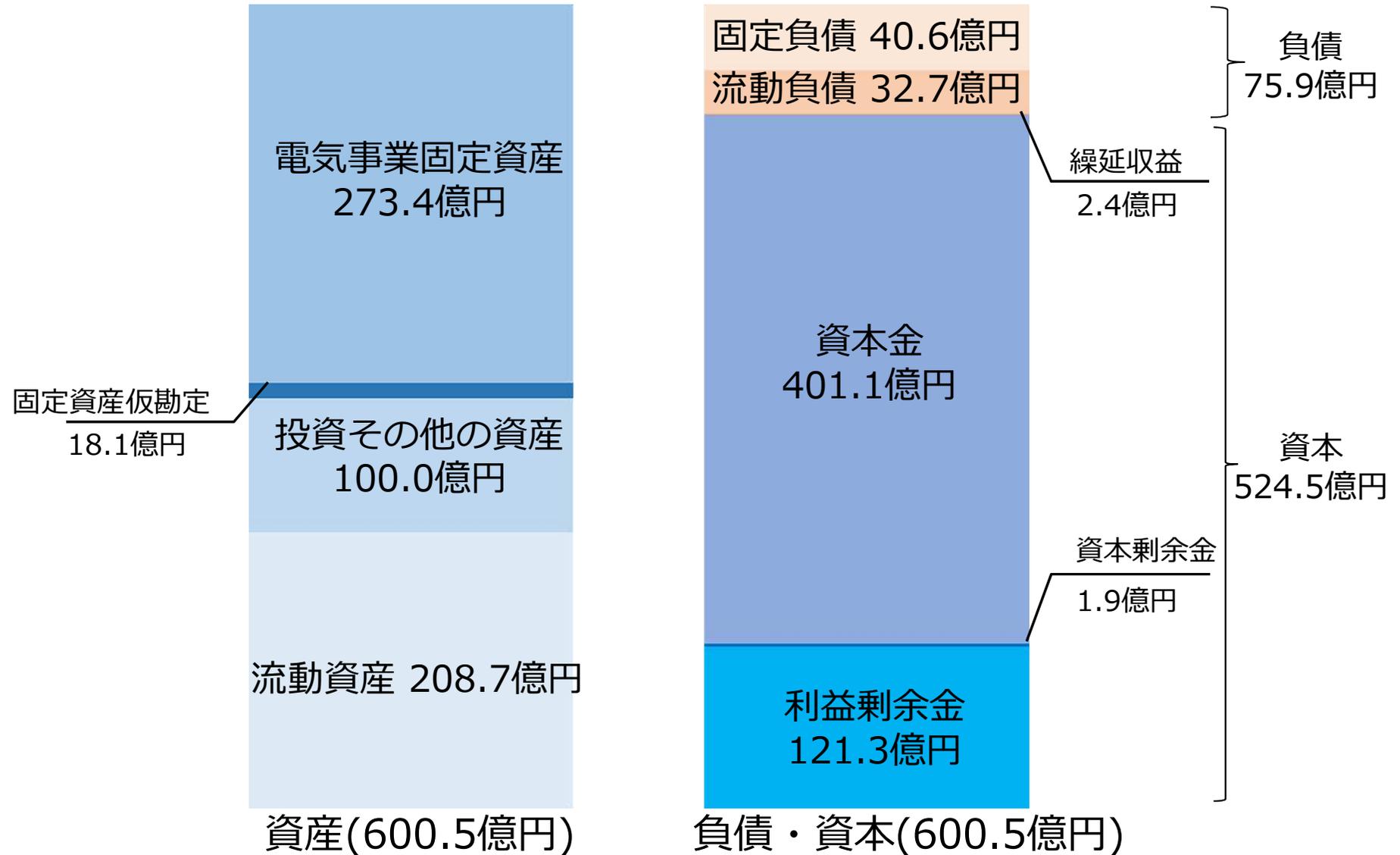
## 2 グラフで見る決算書

＜太陽光発電電力料金収入（税抜き）と供給電力量の推移＞



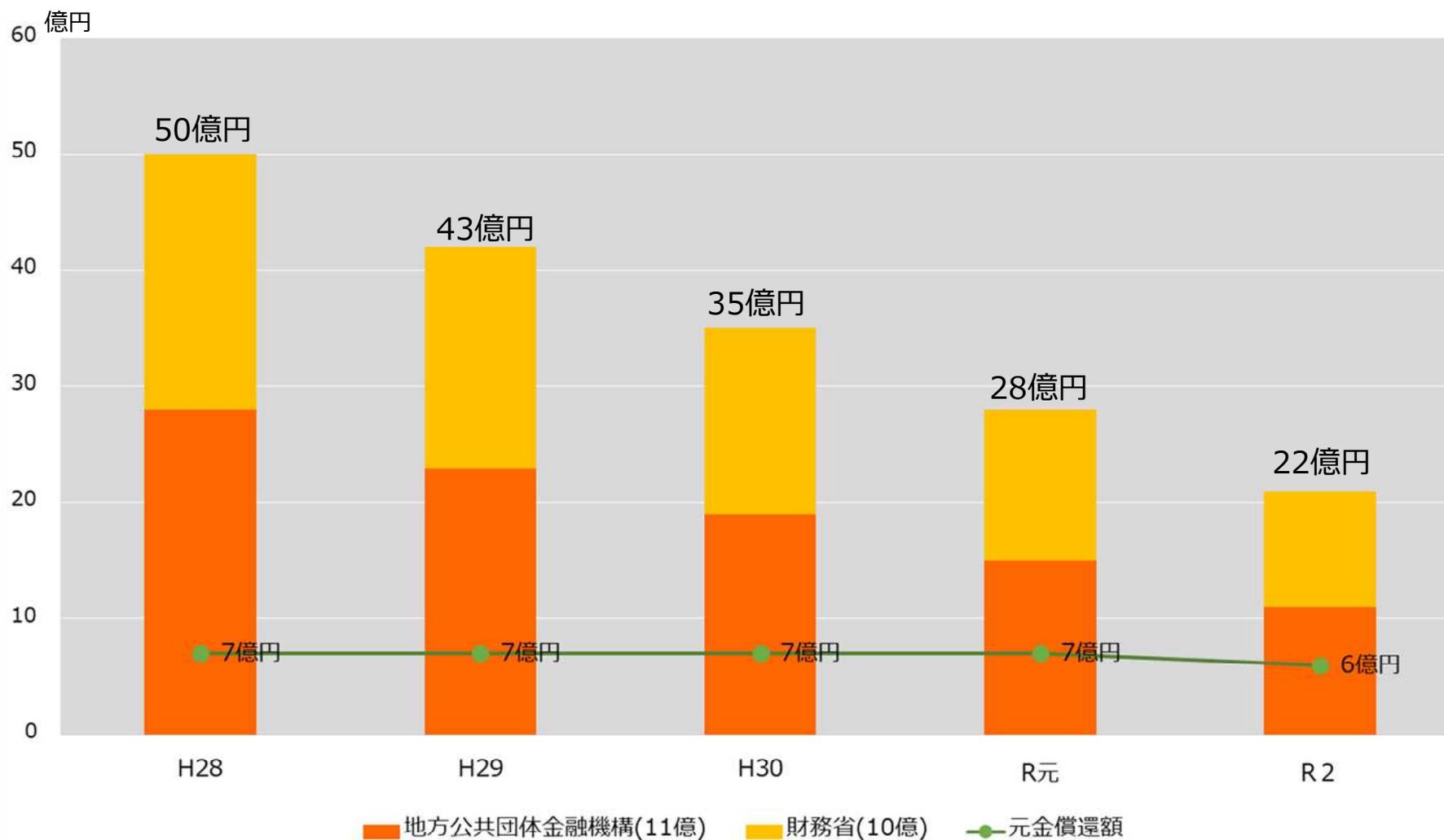
## 2 グラフで見る決算書

### (5) 貸借対照表グラフ



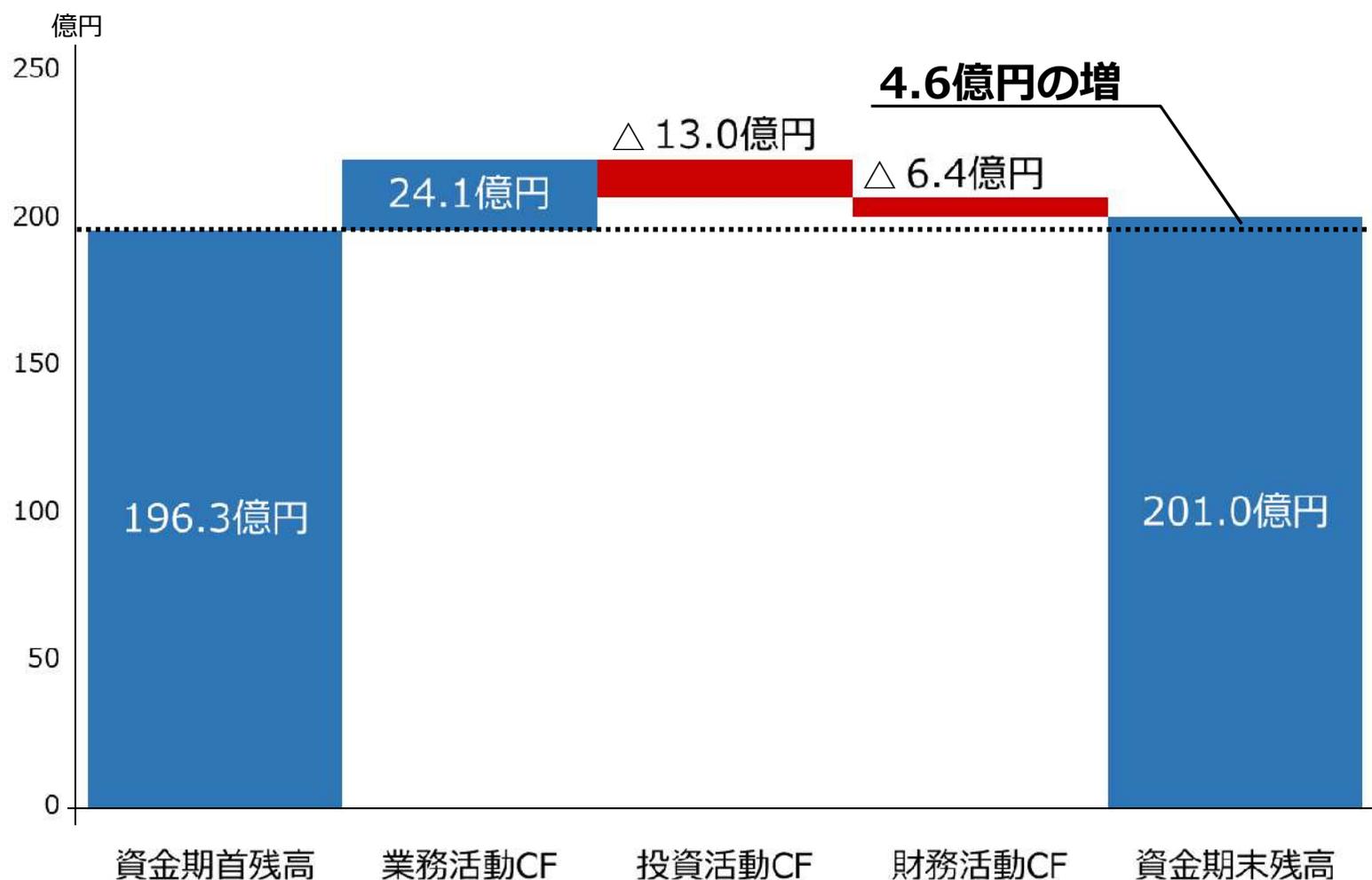
## 2 グラフで見る決算書

### (6) 企業債残高の推移



注 ( ) 内は、令和2年度末の残高である。

### (7) キャッシュフローグラフ



## 2 グラフで見る決算書

## 電気事業会計

〈参考〉神奈川県営電気事業経営計画における財政収支見通しとの比較(単位：億円)

科目等		年度	令和2年度	令和2年度	計画比増減 A-B
			決算額 A	経営計画 B	
収益的 収支	収益的収入	a	82	83	△ 1
	水力発電料金収入		60	60	0
	太陽光発電料金収入		1	1	0
	その他の収入		21	22	△ 1
	収益的支出	b	73	80	△ 6
	消費税資本的収支調整額	c	1	2	△ 1
当年度利益剰余金又は欠損金 (a-b-c)		d	7	1	6
資本的 収支	資本的収入	①	1	1	0
	資本的支出	②	22	29	△ 6
	建設改良事業費等		16	22	△ 6
	元金償還金		6	6	0
	資産運用費等		0	0	0
資本的収支財源過不足額(①-②)		③	△ 21	△ 28	7
資金 収支	資本的収支不足額の補填財源	④	25	21	5
	当年度分資金収支(③+④)	⑤	5	△ 7	11
	資金残高		169	144	26

公営企業資金等  
運用事業会計

# 1 決算の概要

公営企業資金等運用事業会計

## <収益的収支>

(単位：百万円)

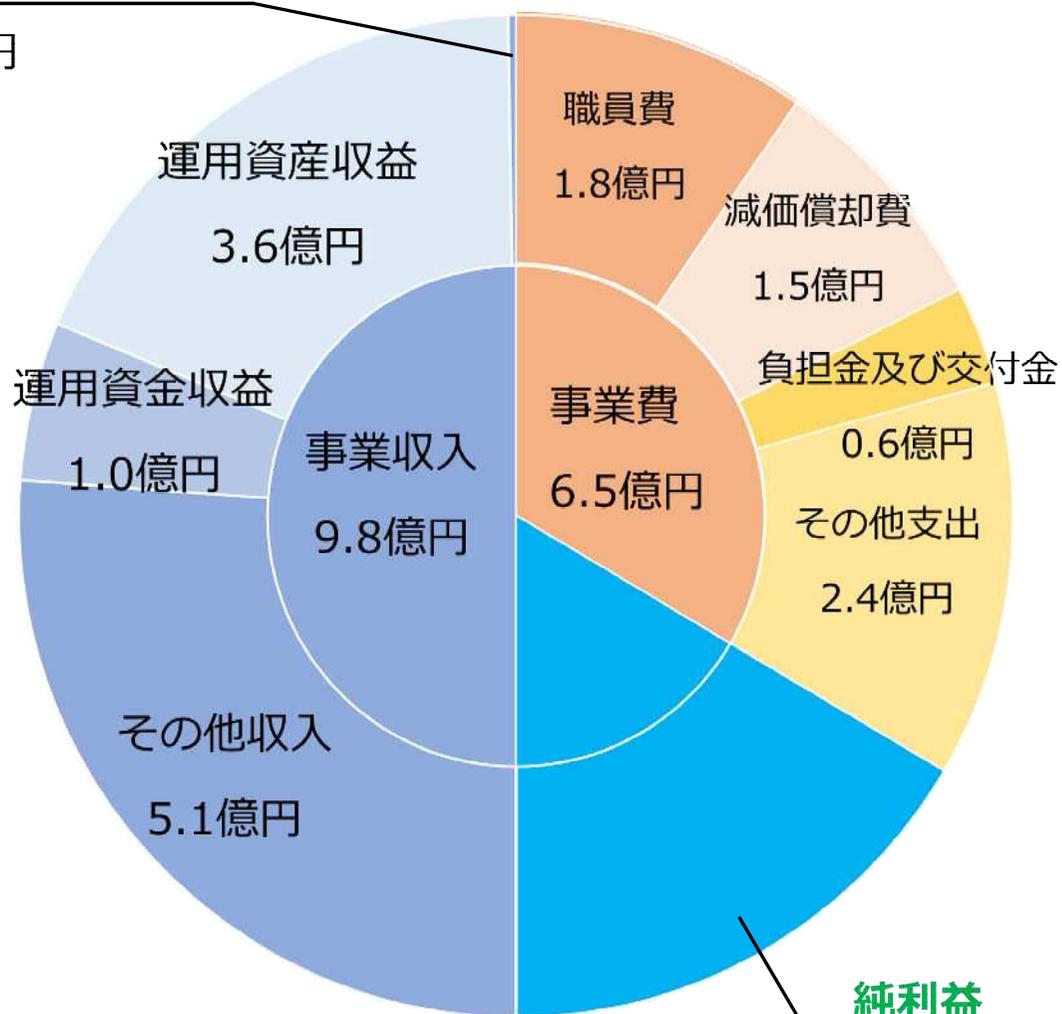
科目等		令和2年度 決算額(A)	令和元年度 決算額(B)	増減 A - B
収益的収入	a	987	1,021	△ 34
営業収益		471	478	△ 6
運用資金収益		100	115	△ 15
運用資産収益		368	360	8
その他収入		2	2	0
営業外収益		515	522	△ 6
特別利益		0	21	△ 20
収益的支出	b	655	697	△ 41
営業費用		439	449	△ 9
職員費		187	182	4
負担金及び交付金		64	66	△ 1
減価償却費		157	157	0
その他支出		29	42	△ 12
営業外費用		215	247	△ 32
消費税資本的収支調整額	c	21	△ 6	27
当年度純利益又は純損失 (a-b-c)	d	311	331	△ 19

# 1 決算の概要

## <収益的収支>

消費税資本的収支調整額

0.2億円

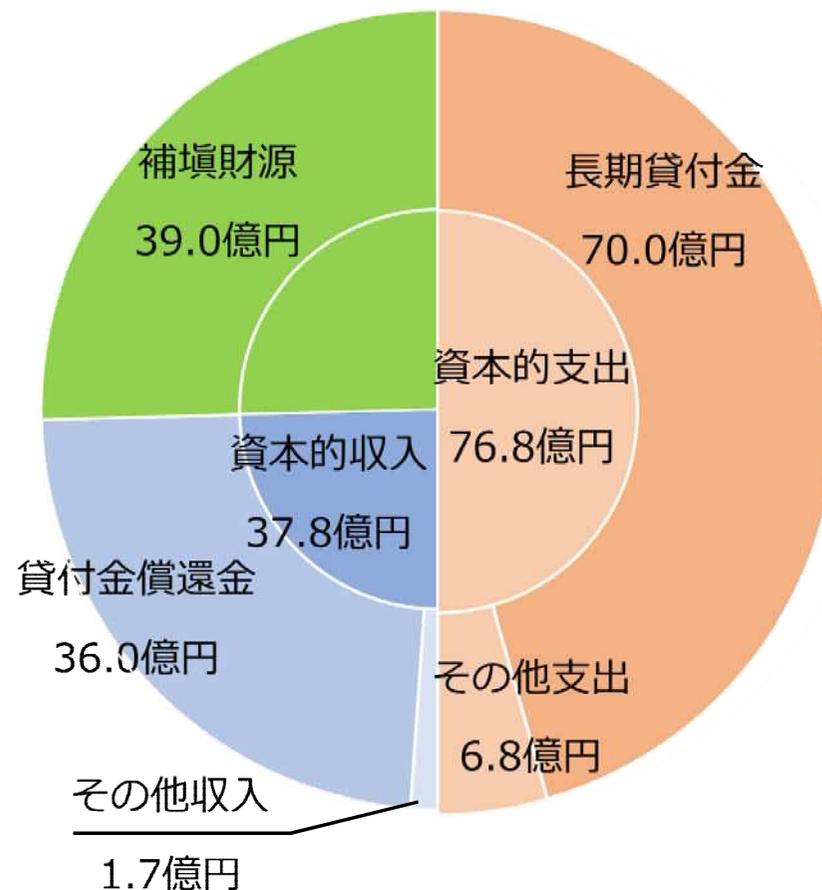


# 1 決算の概要

## <資本的収支>

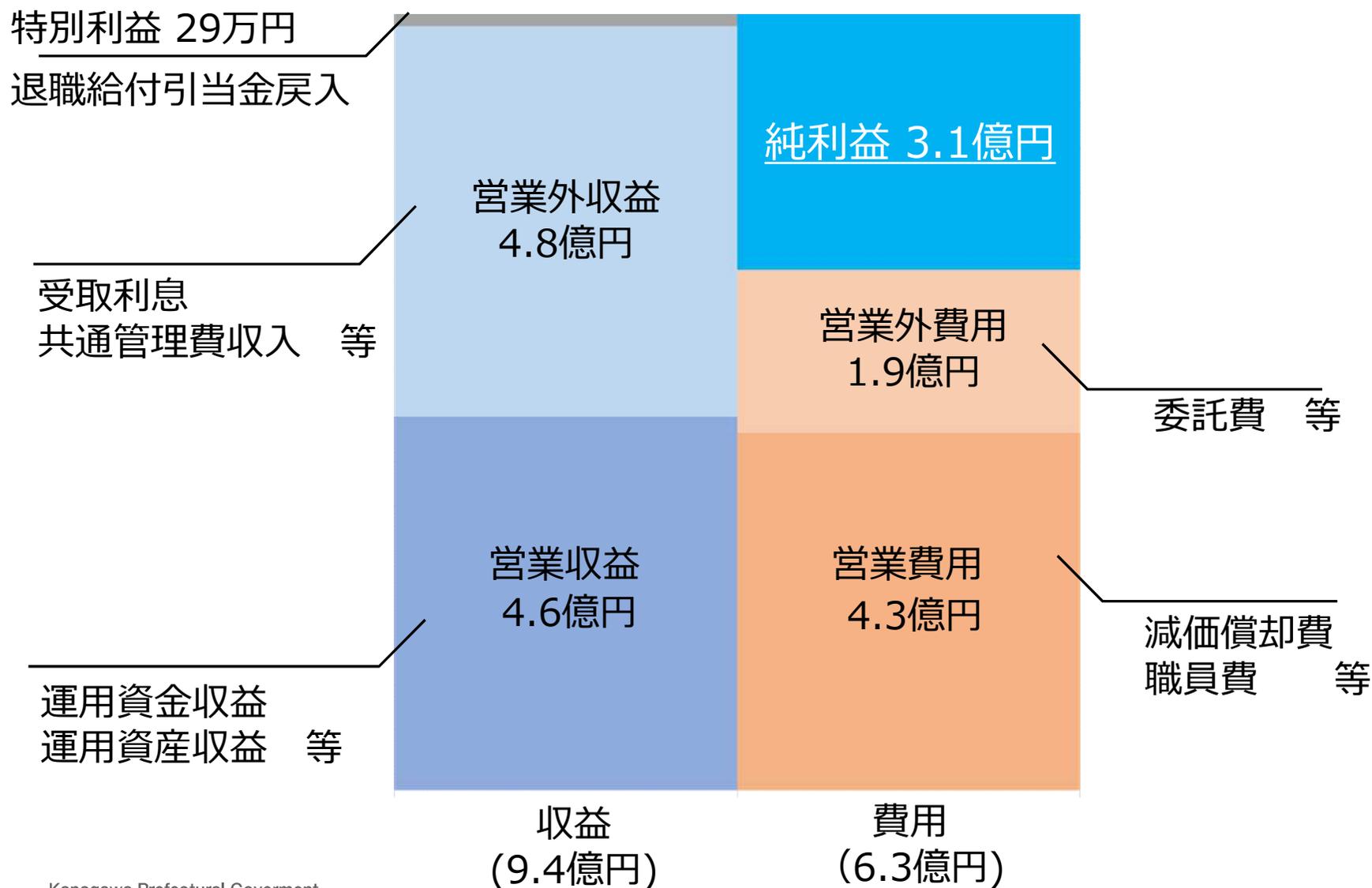
(単位：百万円)

科目等		令和2年度 決算額(A)	令和元年度 決算額(B)	増減 A - B
資本的収入	a	3,781	4,068	△ 286
他会計への長期貸付金償還金等		3,606	3,884	△ 277
その他収入		175	183	△ 8
資本的支出	b	7,689	6,207	1,481
他会計への長期貸付金		7,000	6,000	1,000
その他支出		689	207	481
補填財源 (a-b)	c	△ 3,907	△ 2,139	△ 1,768



## 2 グラフで見る決算書

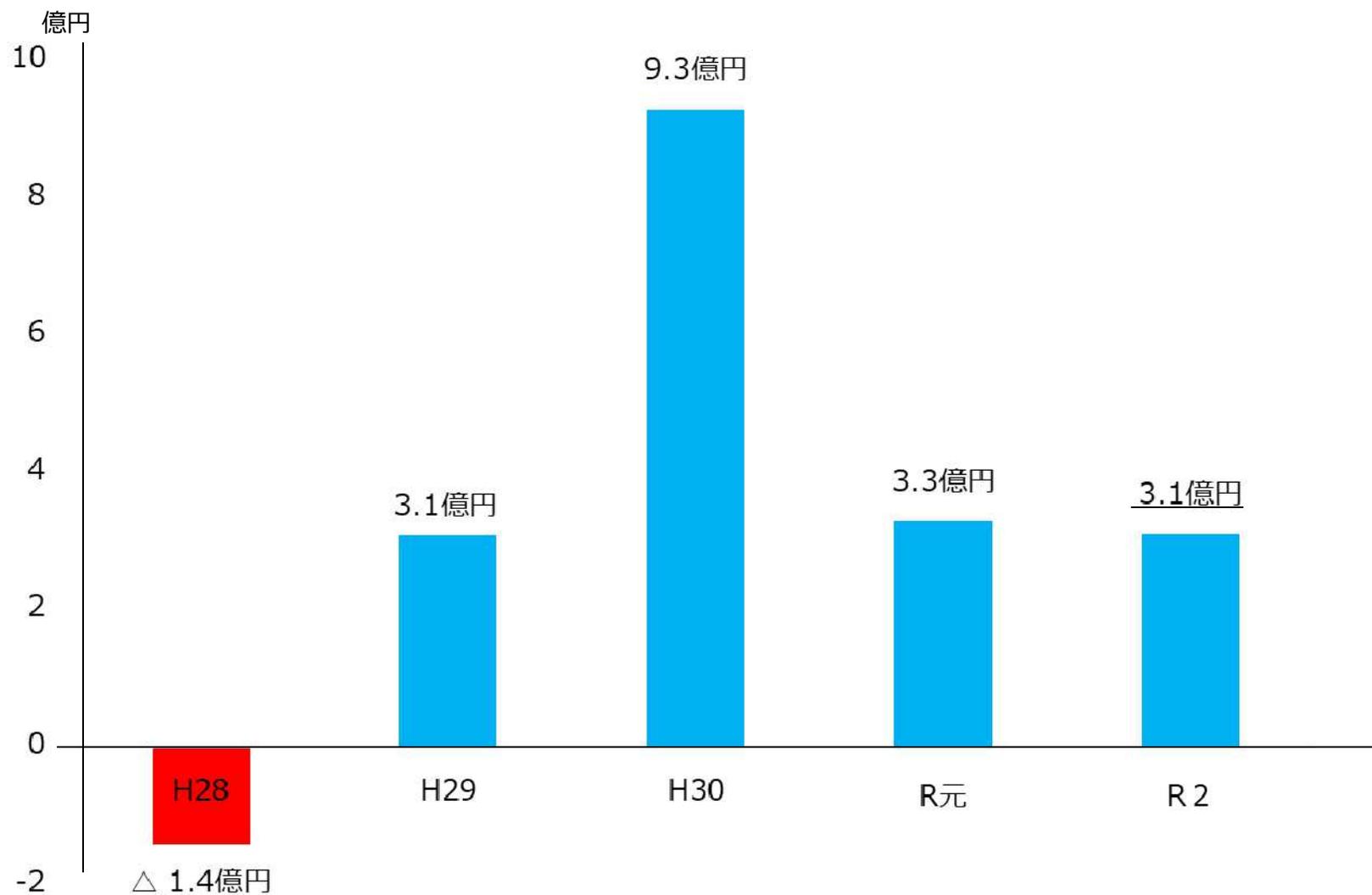
### (1) 損益計算書グラフ



## 2 グラフで見る決算書

公営企業資金等運用事業会計

### (2) 当年度損益の推移



## 2 グラフで見る決算書

### (3) 剰余金の処分

#### <当年度末処分利益剰余金>

(単位：百万円)

摘要	金額
前年度繰越利益剰余金	0
当年度純利益	311
当年度末処分利益剰余金	311

前年度繰越利益剰余金  
71万円

当年度純利益  
3.1億円

当年度末処分利益剰余金

#### <剰余金の処分案>

(単位：百万円)

摘要	金額
当年度末処分利益剰余金	311
利益積立金の積立	△ 136
他会計繰出金の処分	△ 176
翌年度繰越利益剰余金	0

翌年度繰越利益剰余金  
21万円

利益積立金  
1.3億円

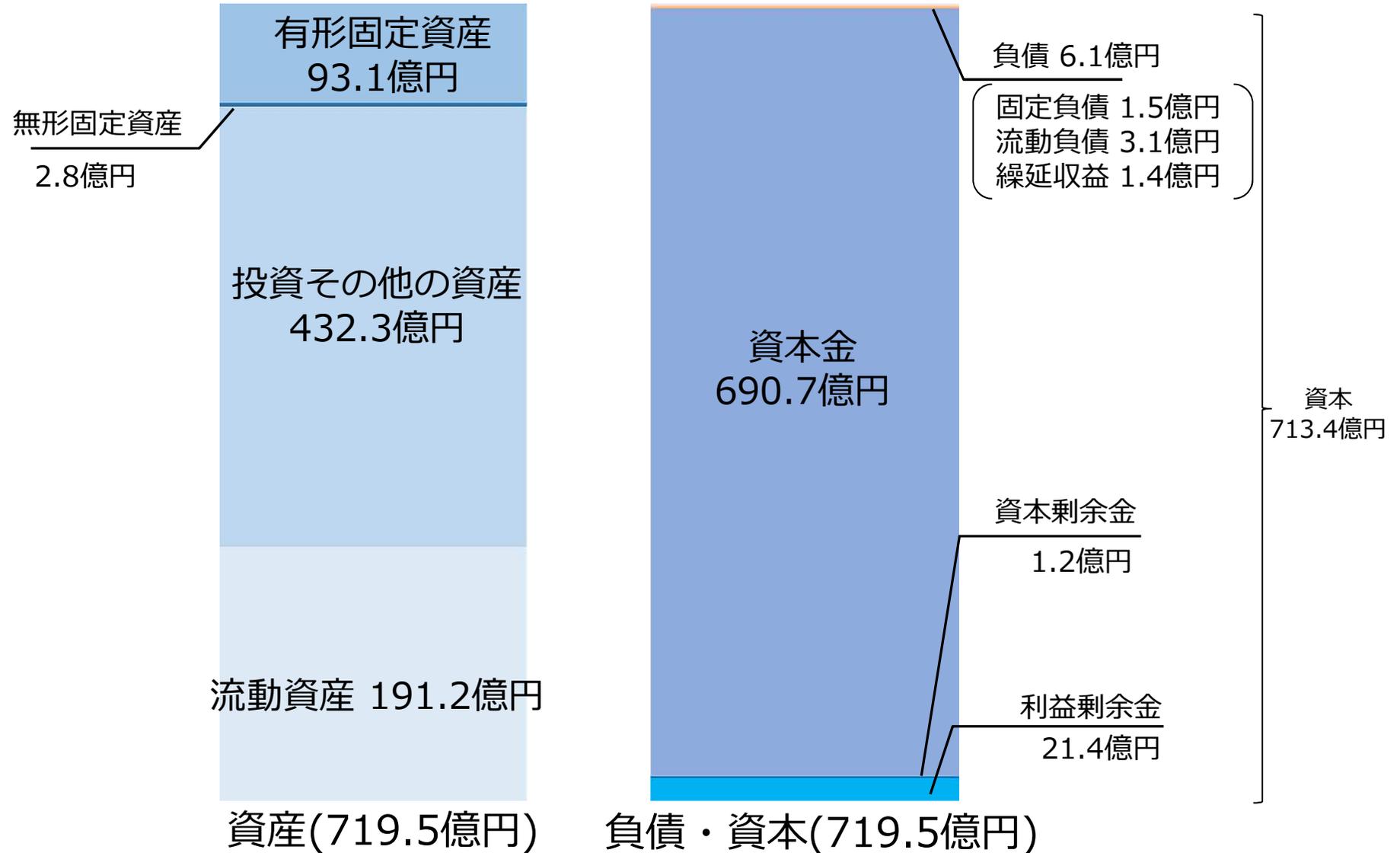
他会計繰出金  
1.7億円

剰余金の処分案

## 2 グラフで見る決算書

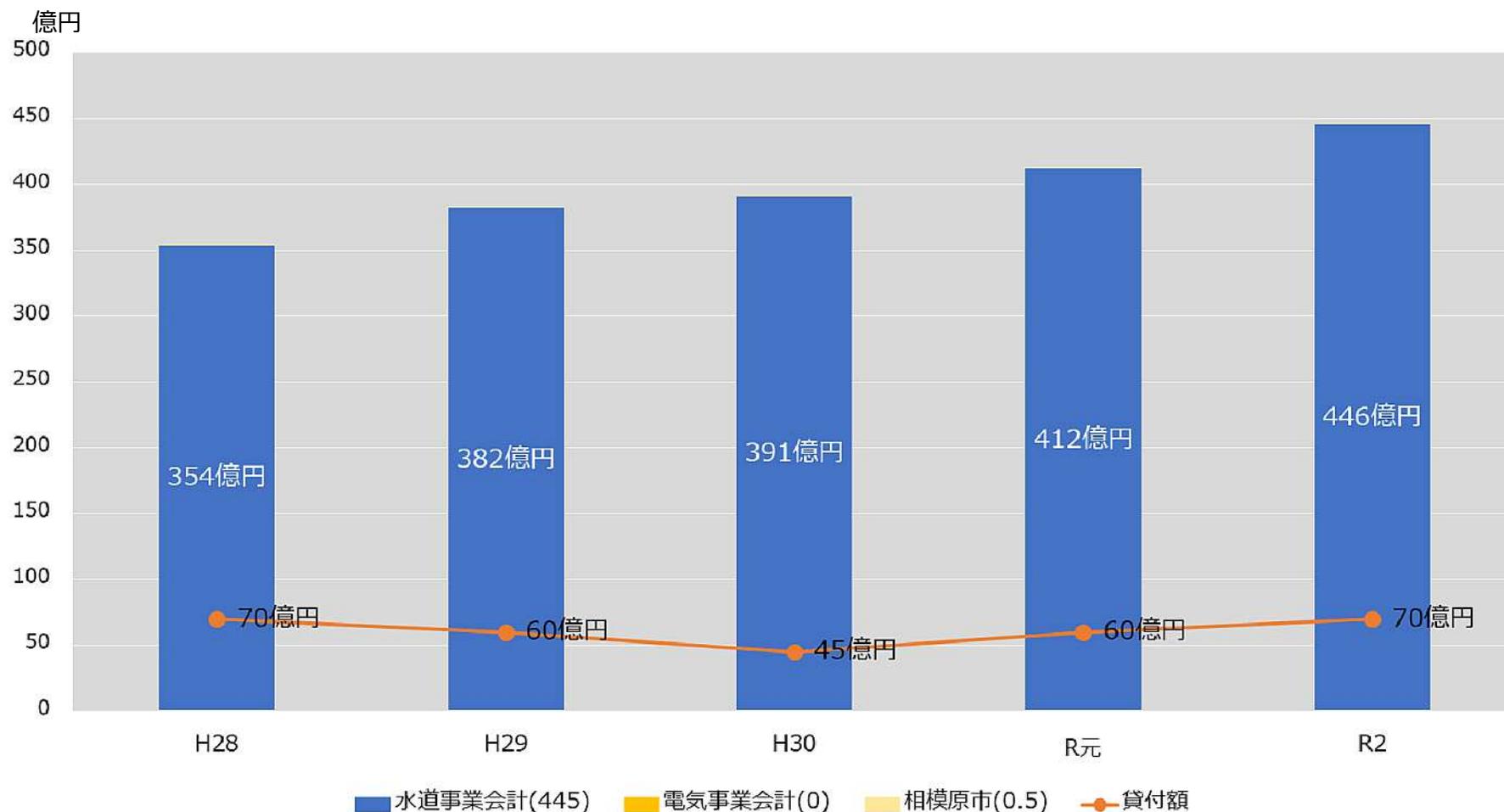
公営企業資金等運用事業会計

### (4) 貸借対照表グラフ



## 2 グラフで見る決算書

### (5) 他会計への貸付

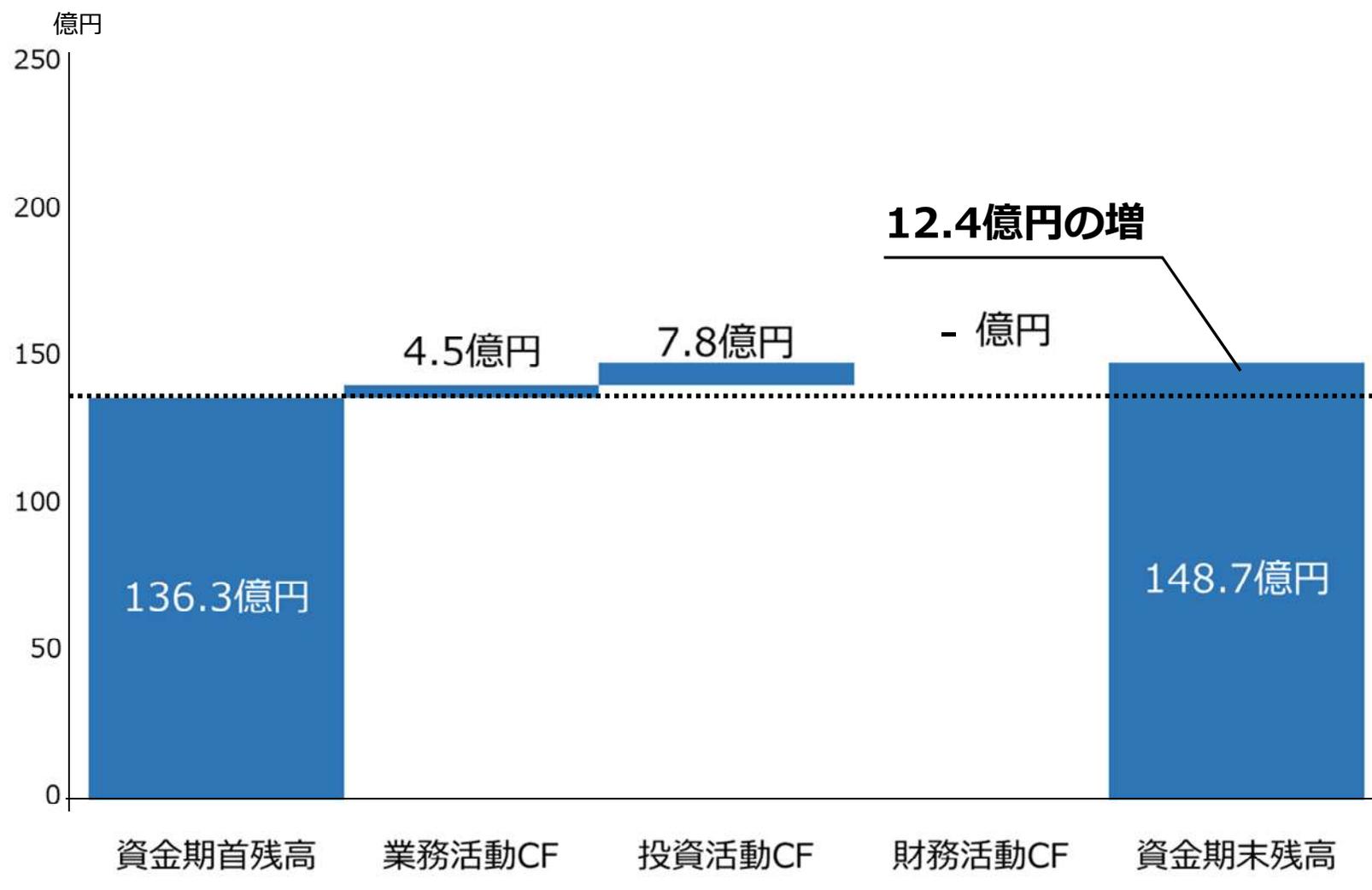


注 ( ) 内は、令和2年度末の貸付残高である。

## 2 グラフで見る決算書

公営企業資金等運用事業会計

### (6) キャッシュフローグラフ



# 相模川総合開発共同事業会計 酒匂川総合開発事業会計

# 1 決算の概要

相模川総合開発共同事業会計  
酒匂川総合開発事業会計

## (1) 相模川総合開発共同事業会計

(単位：百万円)

科目等		年度	令和2年度	令和元年度	増減額
			決算額 A	決算額 B	A - B
収益的収支	収 入		1,721	1,783	△ 62
	支 出		1,721	1,797	△ 76
資本的収支	収 入		342	932	△ 590
	支 出		342	919	△ 576
合 計	収 入		2,064	2,716	△ 652
	支 出		2,064	2,716	△ 652

## (2) 酒匂川総合開発事業会計

(単位：百万円)

科目等		年度	令和2年度	令和元年度	増減額
			決算額 A	決算額 B	A - B
収益的収支	収 入		1,258	1,315	△ 57
	支 出		1,258	1,315	△ 57
資本的収支	収 入		481	68	412
	支 出		481	68	412
合 計	収 入		1,739	1,384	355
	支 出		1,739	1,384	355

ダム施設等の維持管理など経費全額を各事業者からの受託収入で賄っており、収入と支出が同額であるため、当年度損益は生じない。

# (参考) 令和2年度の主要事業に係る予算・決算額対比表

(単位：千円)

会計名	事業名等	予算額				決算額	翌年度繰越額
		当初予算額	補正予算額	※繰越等	合計		
水道事業会計	管路更新推進事業	14,710,305	0	2,157,032	16,867,337	13,289,126	2,974,496
	電気機械設備等更新事業	2,102,093	0	172,120	2,274,213	936,977	800,334
	寒川浄水場排水処理施設管理事業	889,943	0	0	889,943	879,402	0
	漏水対策強化事業	218,933	0	0	218,933	180,380	0
	寒川浄水場中央監視及び分散制御設備更新事業	1,532,775	0	0	1,532,775	1,273,699	259,075
	水道システムの再構築に向けた検討	12,761	0	0	12,761	4,688	0
	水道料金関連業務委託事業	1,301,335	0	0	1,301,335	1,250,896	0
	水道スマートメーター実用化検討調査事業	7,150	0	0	7,150	7,150	0
	水道施設耐震化事業（一部再掲）	15,325,923	0	2,157,032	17,482,955	13,564,338	3,066,986
	応急給水体制整備促進事業	152,982	0	0	152,982	136,418	0
	緊急遮断弁接合部補強事業	39,143	0	0	39,143	24,690	0
	災害時の受援体制の強化	500	0	0	500	438	0
	水道施設の保安対策事業	113,873	0	0	113,873	98,731	0
	寒川浄水場浸水対策事業	161,799	0	0	161,799	141,985	0
	水道施設停電対策事業	140,088	0	0	140,088	123,386	0
	谷ヶ原浄水場薬品注入設備整備事業	96,885	0	0	96,885	0	91,069
	災害用備蓄材整備事業	144,498	0	82,128	226,626	35,879	167,198
	貯水槽水道適正管理推進事業	6,413	0	0	6,413	6,399	0

※ 繰越等：前年度繰越額及び流用増減額を含む。次頁以降同様。

## (参考) 令和2年度の主要事業に係る予算・決算額対比表

(単位：千円)

会計名	事業名等	予算額				決算額	翌年度繰越額
		当初予算額	補正予算額	繰越等	合計		
水道事業会計	鉛管対策事業	15,125	0	0	15,125	10,536	0
	県営水道の新たなPRの展開	10,816	0	0	10,816	99	0
	L I N E等を活用した電子申請	5,487	0	0	5,487	3,499	0
	給水装置工事申請状況閲覧システムの構築	38,522	0	1,584	40,106	40,106	0
	箱根地区水道事業包括委託事業	1,104,328	0	0	1,104,328	1,055,153	0
	障害福祉サービス事業所への水道メーター分解作業業務委託事業	11,104	0	0	11,104	8,532	0

# (参考) 令和2年度の主要事業に係る予算・決算額対比表

(単位：千円)

会計名	事業名等	予算額				決算額	翌年度繰越額
		当初予算額	補正予算額	繰越等	合計		
電気事業会計	相模貯水池管理事業	734,809	0	84,975	819,784	707,789	0
	相模ダムリニューアル事業	262,002	0	13,640	275,642	201,909	43,149
	相模貯水池堆砂対策事業	1,478,288	0	0	1,478,288	1,375,726	0
	道志調整池保全対策事業	211,816	0	0	211,816	174,484	0
	発電所取引用計量装置整備事業	400,426	0	△ 2,420	398,006	252,644	0
	愛川第1・第2発電所オーバーホール事業	776,160	0	0	776,160	773,110	0
	水素エネルギー利用の技術的研究	210,290	0	0	210,290	210,267	0
	宮ヶ瀬ダム水とエネルギー館電気ゾーンリニューアル事業	4,950	0	0	4,950	4,950	0
	開かれたダム・発電所を目指した取組み（一部再掲）	20,705	0	0	20,705	9,690	0
	ダム・発電所地域振興助成事業	18,000	0	△ 2,316	15,684	3,006	0
	電力システム改革に対応した新たな売電方法の検討	25,000	0	0	25,000	24,997	0

会計名	事業名等	予算額				決算額	翌年度繰越額
		当初予算額	補正予算額	繰越等	合計		
公営企業資金等 運用事業会計	水道事業会計への長期貸付金	7,000,000	0	0	7,000,000	7,000,000	0
	山北町洒水の滝遊歩道整備事業	124,000	0	0	124,000	90,888	33,111
	寒川町営プール整備事業	482,735	0	0	482,735	396,268	54,682
	ドローン活用強化事業	3,794	0	0	3,794	3,656	0
	LINEによる情報発信	4,463	0	0	4,463	2,499	0

## (参考) 令和2年度の主要事業に係る予算・決算額対比表

(単位：千円)

会計名	事業名等	予算額				決算額	翌年度繰越額
		当初予算額	補正予算額	繰越等	合計		
相模川総合開発 共同事業会計	城山ダム施設管理事業	1,752,930	0	197,461	1,950,391	1,546,701	141,901
	城山ダム流入量予測システムの機能 強化	9,724	0	11,176	20,900	20,878	0
酒匂川総合 開発事業会計	三保ダム施設管理事業	1,651,229	226,204	179,663	2,057,096	1,120,456	766,777
	貯水池等保全対策事業	626,460	19,989	40,091	686,540	583,119	19,989
	三保ダムにおける流芥処理の強化	11,341	0	0	11,341	10,741	0